

光記念館 年報 2010.3

Hikaru Museum

第6号

平成20-21年度

H i k a r u M u s e u m



www.h-am.jp

もくじ

ご挨拶	3
光記念館の理念	4
施設概要	
建築概要	5
施設の規模	5
フロアガイド	6
平成20-21年度事業概要	
常設展示	
古代からのメッセージ展示室	7
地質科学より見た飛騨展示室	7
人類史展示室	8
美術展示室	10
映像展示	15
特別展示	
「広重名所江戸百景展 春の部 ～ゴッホらが愛した広重の浮世絵～」	18
「世界のなに?!これ?!昆虫大集合～岐阜の自然と世界の大昆虫展～」	20
「第1回 現代木彫根付公募展～木の国から世界へ～」	26
「北斎 富嶽三十六景展～感動は言葉にできない～」	28
「シルクロード展 そして正倉院へ～東西の出会い旅遊記～」	30
「光記念館日本画名品選」	35
企画展示	
「いのちをつなぐ食」	37
「橋本龍太郎フォトメッセージ～地球家族バンザイ～」	38
「第2回 現代木彫根付公募展～木の国から世界へ～」	39
講演会	
「シルクロード展 展示解説」	42
出張美術館	
1, 実施にあたって	43
2, 平成20年度	43
3, 平成21年度	46
体験学習	
高山市市民部 生涯学習課主催 土曜教室	49
期間限定体験学習	54
その他	58
貸出資料	
館外貸し出し履歴	62

ご挨拶

光記念館は、平成11年4月に開館してより10周年を迎えさせて頂きました。当館は、平成14年に博物館法による「登録博物館」として、また、平成19年4月に文化庁より文化財保護法第53条の規定による「公開承認施設」の承認を頂き、美術館・博物館活動をさせて頂いております。ここに当館の年報第6号を刊行し、平成20・21年度の事業報告を致します。

特別展は「歌川広重 名所江戸百景展」「世界のなに?!これ?!昆虫大集合～岐阜の自然と世界の大昆虫展～」「北斎 富嶽三十六景展」「シルクロード展」「光記念館所蔵 日本画名品選展」を開催して参りました。

また、地域に根ざした博物館活動を目指し、飛騨匠根付会に協力して「世界現代根付公募展」が行われました。

さらに国際交流事業として、日本・ブラジル移民百周年記念事業の一環でブラジル・イピラプエル公園 日本館にて「手島泰六書展～書美の追求～」、ルクセンブルクではEU歴史遺産記念日に「北斎展」「広重展」他を開催し、海外と文化の交流を深めて参りました。その他にも上海大学美術学院との交流研修も継続的に5年を経過しております。

教育普及活動としては、文化庁芸術拠点形成事業に採用され小・中学校の「出張美術館」を行い、また、高山市教育委員会との連携・協力により「土曜教室」等を多数実施致しました。

この他、国内外の美術・博物館に作品・資料の貸し出しや出品を行い他館との連携を深める展開しております。

今後とも、地域社会に貢献させて頂き、かつ国際色豊かな総合博物館として事業・施設の充実を図って参りたいと存じます。

これまでご協力を賜りました関係機関・関係者各位に心より厚く御礼を申し上げ、今後も当館の運営・事業に対しまして格段なるご指導とご鞭撻を賜りますよう謹みてお願申し上げます。

平成22年3月31日

光記念館 館長

加藤郁乎

光記念館の理念

1. テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。

「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたり

- ① 資料収集・保管
- ② 調査研究
- ③ 資料・収蔵品の紹介・展示
- ④ 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。

来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開して行く。

2. 飛驒地域は、特有（古生代から新生代）の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。

地元、飛驒地域（高山市を含む）を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

3. 老若男女を問わず、子供から大人まで気軽にご来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として広く一般に利用していただくことを目的とする。

4. 世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際化にも貢献する。そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

施設概要

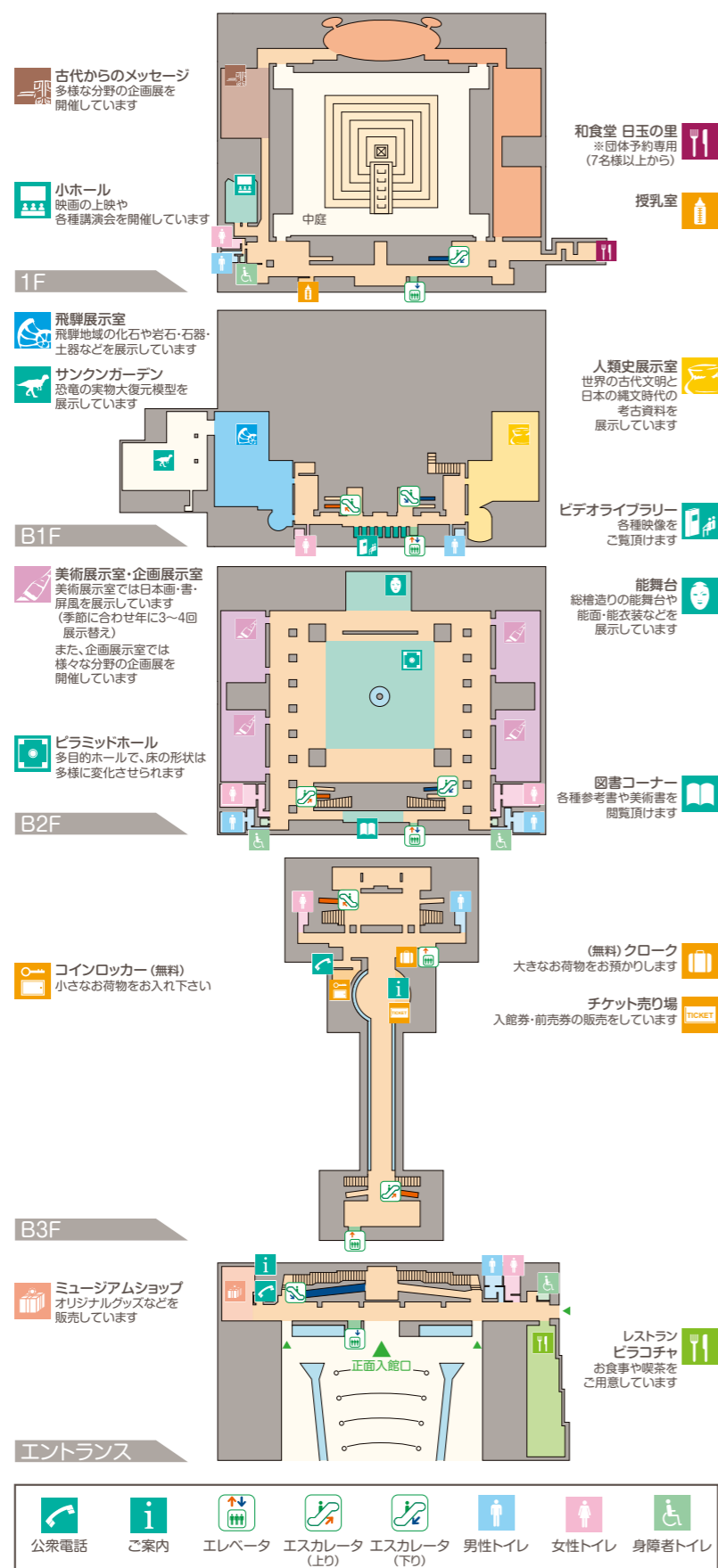
建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町175
地区・地域	第2種住居地域 教育文化地区
工期	着工：平成5年6月23日 竣工：平成10年2月27日 開館：平成11年4月8日
敷地面積	75,753.75㎡（22,915坪）
建築面積	14,097.00㎡（4,264坪）
建ぺい率	19.78% ≤ 48.17%（地区計画）
延床面積	32,668.81㎡（9,882坪）
容積率	45.84% ≤ 76.34%（地区計画）

施設の規模

駐車台数	来館者用	乗用車	105台
		バス	27台
	職員用	乗用車	66台
見学ゾーン面積			
1階	3,750.62㎡	(1,135坪)	
地下1階	2,812.12㎡	(851坪)	
地下2階	7,013.97㎡	(2,122坪)	
合計	13,576.71㎡	(4,107坪)	
能舞台	1	舞台	
小ホール	108	席	
収蔵庫面積	1,534.62㎡	(464坪)	
図書室	30	席	
レストラン「ピラコチャ」	108	席	
和風レストラン「日玉の里」	82	席（団体予約専用）	
立礼席	32	席	
美術館棟の外形	101m × 86m		
外部ピラミッドの高さ	20.7m	(中央床面より)	
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m	(地下2階フロアより)	
可変床面積	1,353㎡	(409坪)	

フロアガイド



平成 20-21 年度事業概要

常設展示

古代からのメッセージ展示室

1, 展示目的

人類は発生より現在まで「幸福」を求め続け、今や絢爛豪華で便利な物質文明を極度に発展させた。その一方で現在、未来人類の存在すら危ぶまれる状況を生み出している。科学・医学・政治・経済・教育・宗教等の研究学問技術は個別に発達し、その相互の関連性の中で矛盾と対立を生み出している。それは、人類が直面している危機的諸問題解決の妨げとさえなっている。この人類規模の危機的状況を克服し、人類悠久繁栄と真の幸福という目的に向かってあらゆる分野を総合一体化させることの必要性を提案することが本展示室の目的である。

社会科学・自然科学の様々な分野から研究成果を紹介することにより多様な知識を提供できる。また、学問として確立されていないものに関しても中立の立場から紹介し、より豊富な情報を提供している。

2, 展示内容

あらゆる分野からのテーマで展示を行っている。社会問題や科学、歴史等、既に学問として確立されたものや現在調査研究を行っているものについても展示している。

常に中立的な見解からの展示を行ない、多様な側面からの情報知識を紹介する。

3, 展示手法

実物資料、グラフィック、映像、検索映像、映像(小ホール)

※「映像(小ホール)」では120インチプロジェクター1台と椅子108席を設置している。夏季を中心に監修の先生方並びに当館学芸員による特別講座を開催し、展示の補足や学習の補助を行なっている。

4, 開催した企画展

- ①いのちをつなぐ食
平成20年10月30日～

地質科学より見た飛騨展示室

1, 展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。

いつの時代においても1つ1つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけがえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

2, 展示内容

飛騨は古生代の福地累層、中生代の手取層群、新生代の火砕流堆積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。

飛騨の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。展示は飛騨産出の化石と考古資料を中心に古生代から現代までの飛騨の歴史と生命の関わりを提示している。

展示は命と心の大切さを伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは、葉脈に至るまで化石を元に忠実に復元している。

〈輝く生命の星〉

導入部に宇宙から見た地球を表現し、自然の美しさと不思議さを提示しながら視点を飛騨に絞っていく。

- ※展示手法:
○地球模型・100インチモニター映像
○実物資料: アエンデ隕石

〈古生代〉

飛騨にある古生代の地層から、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。これらの原始生物は何億年もかけて大量の酸素を放出し、生命の星とよばれる地球の基礎となる、オゾン層や大気等の環境をつくったといわれている。

また、現在の珊瑚礁のように、古生代のサンゴと藻類等も理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことを紹介している。

- ※展示手法:
○実物資料…海生動物化石・岩石
○復元模型…実物資料を用いて「福地累層」「デボン紀岩盤」の一部を原寸大に復元した。
○ジオラマ…「デボン紀」「石炭紀」「二畳紀の海」の様子を忠実に復元した。ミラービジョン・映像。

〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。

※展示手法

- 実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等。
- ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した。
- 恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリュウ・カガリュウの原寸大復元模型。

〈新生代〉

飛騨の山々は、新生代の活発な火山活動とプレートの活動によって形成されたといわれている。大地の巨大なエネルギーを地形の痕跡等から伝える。また、新生代は人類が出現し、活動を始めた時代でもある。

人類が作った道具を地球史46億年の産物である岩石、粘土、木の素材表現をするという視点で展示し、自然の産物を借用して人類は営み始めたことを伝えている。自然に適応するために道具を作り、自然素材の特性を活かして繁栄を遂げた人類と自然との共生を紹介する。

※展示手法

- 実物資料…石器、土器、岩石。
- 映像模型…噴火と再生の様子を紹介。

〈考古〉

高山市丹生川町広殿（ひろんど）遺跡の紹介

※展示手法

- 実物資料…土器・石器

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。

べたべたちそー（地層）をやってみよう…古生代・中生代・新生代の3つの時代の地層を作り各時代の生きていたもの（ぬいぐるみ）を貼り付ける体験学習。

※学習手法

- Q&Aコーナー…タッチパネルモニターでの、展示内容を題材にした3択5問のクイズで、展示の復習を促している。
- 体験学習室…多目的スペース。実物資料に触れる、企画展等を計画。

- 体験学習室…触れる化石、拓本体験コーナー、恐竜パズル、等。

人類史展示室

1. 展示目的

展示は、人類が共通して持つ普遍の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ることが、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の“心”を問う場を提供している。

2. 展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行なっている。旧石器時代から世界の7つの文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

〈旧石器時代〉

約400万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介する。

※展示手法

- 実物資料…旧石器。
- 縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。

〈世界の古代文明〉

約1万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7つの文明と日本の縄文時代

の地理的・時代的な位置関係を一覧できるよう工夫した。

各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

※展示手法

- 世界地図に8つの21インチモニターを配置し、各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像で一覧できるようにしている。

〈古代文明〉

紀元前3000年頃より栄えた世界的にもよく知られる7つの文明を、展示コーナーごとに分けて展示している。

世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、比較することで、それぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索する。

※展示コーナー

- ①メソポタミア文明
- ②ギリシア・地中海文明
- ③エジプト文明
- ④メソアメリカ文明
- ⑤中国文明
- ⑥インダス・インド文明
- ⑦アンデス文明

※展示手法

- 実物資料…保存状態の良い副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。
- グラフィック…大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置した。
- 模型資料…当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型（ウルのジクラット・パルテノン神殿・ティカール神殿）、エジプト太陽の船縮小模型、三内丸山遺跡の復元模型、巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成した。

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示する。

※展示手法

- 実物資料…土偶、土器、石製品。
- レプリカ…木製品、土器。
- ミラービジョン…三内丸山遺跡の5500年前と発掘時の様子を縮小模型で重ねてみせる。盛土模型、巨木柱模型、縄文時代の紹介映像

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

※学習手法

○古代文字スタンプ…エジプトのヒエログリフとマヤ文字のスタンプを用意し、名前や来館日等を古代の絵文字で押して、持ち帰れるようにしている。

○土器の立体パズル…縄文の火炎土器とアンデスの鏡形土器を電磁石で組み立て、資料復元のミニ体験ができるようにしている。

○Q&Aコーナー…タッチパネルモニターでの、展示内容を題材にした3択5問のクイズで、展示の復習を促している。

○スタンプラリー…展示室内10ヶ所にスタンプを設置し、各文明の建物や器・土偶などのスタンプを押せるようにしている。



美術展示室

1. 展示目的

芸術は古来より人の精神性に深く関わり、洗練されてきた。万人に通ずる清明正直な美の世界から、高い感性を培うことを目的としている。

2. 展示内容

光記念館地下2階には展示室が4室ある。この4室を特別展の内容に合わせて配分し、特別展の展示と美術のコレクション展示とに使用している。当館は浮世絵の作品が充実しており、肉筆画：約420点、版画：約220点のコレクションは日本有数といえる。またこの他に、近・現代の日本画が約250点、書が約230点程ある。コレクション展示ではこれらの中から特に、日本画・書の展示を行ない、作品の保護を考慮して年に3~4回展示替えを行っている。

平成20年「春」

種類	作者	作品名	制作年	
日本画	磯田長秋	麗日	昭和10 (1935) 年	
	磯田長秋	京の町	不詳 (明治31年~昭和22年)	
	上村松園	晴れ間	昭和14~15 (1939~40) 年頃	
	小野竹喬	春秋屏風	不詳 (明治36年~昭和54年)	
	鑄木清方	京鹿子娘道成寺	昭和3 (1928) 年頃	
	加山又造	夜桜	昭和57 (1982) 年	
	加山又造	群鶴図	不詳 (昭和~平成16年)	
	郷倉千穂	四月の頃	昭和2 (1953) 年	
	高森碎巖	紙雛絵	不詳 (明治~大正6年)	
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15 (1926) 年	
	前田青邨	小春日和	不詳 (明治~昭和52年)	
	松岡映丘	住吉ものがたり	不詳 (明治37年~昭和13年)	
	安田靉彦	観音	大正14 (1925) 年頃	
	横山大観	乾坤耀く	昭和18 (1943) 年	
	書	市河米庵	花柳春至盛	江戸後期
		市河米庵	天寿	江戸後期
市河米庵		寿山	江戸後期	
勝海舟		「落花水暖干船襪…」	江戸・明治	
西郷隆盛		書簡	不詳 (幕末~明治10年)	
正田耀花		花	平成10 (1998) 年	
高橋泥舟		山	不詳 (幕末~明治36年)	
高橋泥舟		宝祚之隆天壤無窮	不詳 (幕末~明治36年)	
手島巴人		涉	平成9 (1997) 年	
手島右卿		高明	不詳 (昭和)	
堀桂琴		会津八一歌	昭和49 (1974) 年	
松林桂月		南山壽	不詳 (大正~昭和38年)	
工芸		北大路魯山人	雲錦大鉢	昭和16年 (1941) 年
	康次	太刀 銘康次	鎌倉時代 (建暦頃)	
	若尾経	青瓷合子	不詳 (平成7~15年)	

平成20年「夏」

種類	作者	作品名	制作年
日本画	上村松園	美人納涼図	昭和16 (1941年) 頃
	大矢紀	白神花	昭和63 (1988) 年
	小川芋銭	富士	大正11 (1922) 年頃
	萩原井泉水	日之出と大黒像	大正10 (1921) 年頃
	加藤東一	鯉	不詳 (昭和22年~平成8年)
	鑄木清方	神田祭	昭和10~15 (1935~40) 年頃
	鑄木清方	お稽古	昭和初期
	鑄木清方	紅葉	不詳 (明治24~昭和47年)
	加山又造	牡丹	昭和60 (1985) 年頃
	加山又造	鯉	不詳 (昭和24~平成16年)
	加山又造	龍図	昭和63 (1988) 年
	河鍋曉斎	竜神図	明治初期
	川端龍子	富貴盤	昭和33 (1958) 年
	木村武山	蝗 (バツタ)	明治33 (1900) 年頃
	小杉放庵	雀の宿	昭和15 (1940) 年
	小杉放庵	鐘馗	大正15 (1926) 年
	児玉希望	田園の朝松籟を聞く	昭和5 (1930) 年頃
	小林古径	菜果図	不詳 (大正11~昭和32年)
	佐多芳郎	聖観自在菩薩	昭和59 (1984) 年
	佐多芳郎	義経	不詳 (昭和59年頃)
	竹内栖鳳	香富貴	昭和5~10 (1930~35) 年
	堂本印象	花鳥図	昭和25 (1950) 年頃
	富岡鉄斎	渡栄菅神像図	不詳 (安政5~大正13年)
	中川一政	魚	不詳 (大正3~平成3年)
	中村不折	白衣観音	昭和5 (1930) 年頃
	沼田晏宏	木蓮	平成元 (1989) 年
	菱田春草	婦牧	明治35 (1902) 年
	菱田春草	瀑布(流動)	明治34 (1901) 年
	菱田春草	湖辺	明治35 (1902) 年
	平福百穂	富嶽神鐘	明治~昭和
	前田青邨	牡丹	昭和40年頃
	松下和代	花菖蒲	平成3~4 (1991~92) 年
	棟方志功	御如意法輪大施無畏尊図	昭和35~38 (1960~63) 年頃
棟方志功	風神雷神図	昭和21 (1946) 年	
村瀬秋水	浅峰山水図	不詳 (文政7年~大正6年)	
山口華揚	百合	昭和40年代後半 1970~74年	
横山大観	竹林	昭和29 (1954) 年頃	
横山大観	海浜	明治36 (1903) 年	
横山大観	怒涛	不詳 (明治22~昭和33年)	
横山大観	不二靈峰	昭和11 (1936) 年頃	
横山大観	龍蛟躍四溟	1919 (大正8) 年頃	
書	上松一条	九天	不詳 (昭和~平成17年)
	上松一条	蓮	不詳 (昭和~平成17年)
	北川佳邑	和歌	不詳 (昭和~平成20年)
工芸	金城次郎	琉球双耳水注	不詳 (昭和33年~平成16年)
	富取風堂	文人皿	不詳 (大正13年~昭和33)
	中村岳陵	文人皿	同上
	前田青邨	文人皿	同上



平成20年「秋」

種類	作者	作品名	制作年
日本画	伊東深水	御点前	昭和41 (1966) 年頃
	伊東深水	御点前	昭和30 (1955) 年頃
	上村松園	わか葉の頃	昭和14 (1939) 年
	奥村土牛	紅椿	昭和30年頃 (1955) 年頃
	金島桂華	雄鶏	昭和44 (1969) 年
	狩野永真	鳴戸	江戸時代
	小堀墨秀	鯉	平成元年 (1989) 年
	西藤哲夫	朝霧	昭和60 (1985) 年
	作者不詳	誰ヶ袖の図	桃山時代
	佐多芳郎	春紅	昭和59 (1984) 年
	佐多芳郎	椿	昭和55 (1980) 年
	宗達工房	四季草花図屏風	不詳 (寛永7年~17年)
	土佐光起	はは木々	寛文 1661~72年
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15 (1926) 年
	牧谿	龍虎図	文永6 (1269) 年頃
	横山大観	曉暁	昭和19 (1944) 年
	横山大観	不二霊峰	不詳 (大正~昭和33年)
	書	浅海蘇山	得一
大田蜀山人		「用ありといへども…」	江戸後期
川谷尚亭		瀟灑風流	明治
手島右卿		鶴舞	昭和60 (1985) 年
戸田提山		如	不詳 (昭和27年~平成10年)
中林梧竹		「新霽初之夕…」	明治
比田井天来		「黒風萬騎卷…」	明治
藤原定家		藤原定家自筆書状	平安末期~鎌倉初期
山崎大抱		雁	不詳 (昭和27年~平成3年)
頼山陽		「冬顔暁暖開…」	1827 (文政10) 年
工芸	北大路魯山人	色絵紅葉文木葉形鉢	不詳 (大正12年~昭和34年)
浮世絵	葛飾北斎	日蓮	江戸後期
	葛飾北斎	日・龍・月	江戸後期

平成21年「春」

種類	作者	作品名	制作年	
日本画	磯田長秋	京の町		
	上村松園	晴れ間	昭和14~15 (1939~40) 年	
	小野竹喬	春秋屏風	不詳 (大正11年~昭和54年)	
	門井掬水	桜花美人	不詳 (大正10年~昭和51年)	
	鑄木清方	神田祭	昭和10~15 (1935~40) 年頃	
	鑄木清方	花の山	昭和初期	
	鑄木清方	葛飾早春	不詳 (明治24年~昭和47年)	
	久保嶺爾	飛騨真春	平成2 (1990) 年	
	小早川清	行灯	不詳 (昭和1年~23年)	
	下村観山	婦去来辞(陶淵明)	大正初期	
	立石春美	梅が香	不詳 (昭和6年~平成6年)	
	立石春美	若菜つみ	不詳 (昭和6年~平成6年)	
	寺島紫明	舞妓	不詳 (大正2年~昭和50年)	
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15 (1926) 年	
	前田青邨	小春日和	不詳 (明治45年~昭和52年)	
	安田靱彦	観音	大正14 (1925) 年頃	
	横山大観	行く春	明治33 (1900) 年	
	洋画	今井俊満	白梅図	平成元 (1989) 年
		今井俊満	紅梅図	平成元 (1989) 年

種類	作者	作品名	制作年
書	青木香流	叫	昭和
	板倉大河	愚	平成3 (1991) 年
	伊藤千勝	天聴	不詳
	兔洞草民	虚	不詳
	柿下木冠	極	平成9 (1997) 年
	小島碧雲	蕭	不詳 (昭和~平成10年)
	是永尚志	新出	平成12 (2000) 年
	齋藤香坡	月下独酌	不詳 (昭和60年~平成20年)
	齋藤香坡	寂聲	同上
	佐々木嘉邦	婦一	平成9 (1997) 年
	鈴木天城	勉	不詳 (昭和~平成10年)
	辻桃子	俳句	不詳 (昭和38年平成 年)
	辻桃子	俳句	不詳 (昭和38年平成 年)
	辻桃子	俳句	不詳 (昭和38年平成 年)
	戸田提山	無事	平成7 (1995) 年
	中井史朗	拝	不詳 (昭和~平成10年)
	山崎大抱	風神	不詳 (大正~平成3年)
	手島右卿	渉	不詳 (昭和27~62年)
工芸	今井俊満	桜図 (着物)	昭和63 (1988) 年
	康次	太刀 銘康次	鎌倉時代

平成21年「夏」

種類	作者	作品名	制作年
日本画	上村松園	美人納涼図	昭和16 (1941) 年頃
	大谷園泉	鯉	昭和50 (1975) 年頃
	尾竹国観	童子龍乘仙人図	不詳 (明治~昭和20年)
	鑄木清方	夏姿	昭和15 (1940) 年
	鑄木清方	娘道成寺	昭和元 (1926) 年
	川合玉堂	蓬萊群鶴	不詳 (明治~昭和32年)
	川端龍子	金鞍白馬	昭和25 (1950) 年頃
	小杉放庵	山居	昭和8 (1933) 年
	作者不詳	誰ヶ袖の図	桃山時代
	宗達工房	四季草花図屏風	江戸前期
	中原南溪	猛虎	不詳 (江戸後期)
	菱田春草	渡舟図	明治33 (1900) 年頃
	前田青邨	武将	昭和5 (1930) 年頃
	前田青邨	罌粟	昭和5 (1930) 年
	村上華岳	山下煙樹図	不詳 (大正7年~昭和14年)
	村瀬秋水	浅峰山水図	不詳 (江戸後期)
	安田靱彦	観音	大正14 (1925) 年頃
	山元春拳	夏の山路	明治
横山大観	三保之不二山	昭和28 (1953) 年頃	
洋画	今井俊満	夏草図	昭和61 (1986) 年
書	齋藤香坡	月下独酌	不詳 (昭和60年~平成20年)
	齋藤香坡	寂聲	同上
	頼山陽	漢詩	1827 (文政10) 年
	手島右卿	馭	不詳 (昭和27~62年)
工芸	作者不詳	天然瓜硯 (端溪硯)	不詳
	十代 宗矩公	切付札二枚銅童具足	不詳

平成21年「秋」

種類	作者	作品名	制作年
書	雄志	石川雲鶴	平成9(1997)年
	鷺	上松一条	平成10(1998)年
	蕭	小島碧雲	不詳(昭和27年~平成10年)
	魂	後藤教子	昭和62(1987)年
	黒	小林抱牛	昭和63(1988)年
	月下独酌	齋藤香坡	
	寂聲	齋藤香坡	
	帰一	佐々木崑邦	平成9(1997)年
	浄光	貞政少登	昭和62(1987)年
	永平	貞政少登	不詳(昭和27年~平成10年)
	この命をありがとう	柴山抱海	不詳(昭和27年~平成10年)
	無事	戸田提山	平成7(1995)年
	輝	仲川恭司	不詳(昭和27~平成10年)
	色即是空	水嶋山耀	平成9(1997)年
	雲	南不乗	昭和60(1985)年前後
	風神	山崎大抱	不詳(昭和27~平成3年)
	「言霊に…」	加藤郁乎	平成10(1998)年
	瀟灑風流	川谷尚亭	明治
	漢詩	日下部鳴鶴	不詳(明治13年~大正11年)
	「新霽初之夕…」	中林梧竹	明治
惟穆	西川春洞	明治	
乞食	良寛	寛政12(1800)年前後	

〈能舞台〉

能・狂言は約700年もの間守り継がれてきた日本の伝統芸能である。能舞台、能面、能装束などの展示や解説を通して、目に見えない世界や幽玄の世界をも表現する能の、深奥で研ぎ澄まされた芸術性や、人間の本质を突く喜劇 狂言の面白さを伝える。

また、能・狂言に限らず、能舞台上で日本の伝統芸能を披露することもある。

【展示資料】

可動式 総絵造りの能舞台。能装束：『羽衣』『猩々』用など。能面：『黒色尉』『白色尉』『増』『猩々』。

【60インチプロジェクター映像】

能：『舞囃子 高砂』『羽衣』『猩々』『猩々乱』

狂言：『栗焼』『口真似』

日本舞踊：長唄『二人椀久』 長唄『京鹿子娘道成寺』

琵琶：『幻の星 阿倍仲麻呂』『琵琶についてのお話』『平家物語 一 卷九 敦盛の最期より祇園精舎・一の谷』

映像展示

ビデオライブラリーリスト／Video Library List

No	タイトル Titles	時間 Time	備考 Remarks
101	妙 Wonder	約5分 5 minutes	古代からのメッセージ Messages from Ancient Times
102	メガリス Megaliths	約5分 5 minutes	
103	宇宙の調和 The Cosmos in Harmony	約6分 6 minutes	
104	メッセージ message	約6分 6 minutes	
201	生命の誕生 Birth of the Earth	約1分 1 minutes	地質科学より見た飛騨展示室 HIDA HALL
202	不思議な動物サンゴ Coral—A Mysterious Life Form	約4分 4 minutes	
203	化石は語る Fossils	約3分 3 minutes	
204	大自然の恵み The Grandeur of Nature	約4分 4 minutes	
205	高山盆地の形成 Formation of the Takayama Basin	約2分 2 minutes	
206	ボクたちの生物圏～大自然の恵みⅡ～ Blessings of the Earth～The realm of Life～	約7分 7 minutes	
207	すばらしき化石の世界 The Wonderful World of Fossils	約8分 8 minutes	
208	大いなる大地 Wonder of the Earth	約8分 8 minutes	
209	自然界の調和 Harmony in Nature	約7分 7 minutes	
210	恐竜最新情報～恐竜ってなあに～ What kind of animals were dinosaurs?	約4分 4 minutes	
211	恐竜最新情報～荘川町の化石～ Dinosaur fossils found in Shoukawa city	約3分 3 minutes	
212	恐竜最新情報～攻撃と防御～ How did dinosaurs attack other dinosaurs and protect themselves from attack?	約17分 17minutes	
213	恐竜最新情報～恐竜の食性～ Food habits of dinosaurs	約10分 10minutes	
214	恐竜最新情報～生痕化石～ Trace fossils	約7分 7 minutes	
215	恐竜最新情報～翼竜と魚竜～ Pterosaurs and Ichthyosaurs	約4分 4 minutes	
216	恐竜最新情報～恐竜の絶滅～ How did dinosaurs become extinct?	約3分 3 minutes	

No	タイトル Titles	時間 Time	備考 Remarks
301	メソポタミア文明 Mesopotamian Civilization	約2分 2 minutes	人類史展示室 WORLD HISTORY HALL
302	ギリシア・地中海文明 Greek/Mediterranean Civilization	約2分 2 minutes	
303	エジプト文明 Egyptian Civilization	約2分 2 minutes	
304	インダス文明 Indus Civilization	約2分 2 minutes	
305	中国文明 Chinese Civilization	約2分 2 minutes	
306	メソアメリカ文明 Mesoamerica Civilization	約2分 2 minutes	
307	アンデス文明 Andes Civilization	約2分 2 minutes	
308	縄文 Jomon Culture	約2分 2 minutes	
309	縄文の漆 The Use of Laquer in the Jomon Period	約5分 5 minutes	
310	縄文人の生活と四季 Life in the Jomon Period	約4分 4 minutes	
311	ジョウモン博士とヒカリが語る～巨大木柱の謎～ Dr.Jomon and Hikari Talk about the "Large Wooden Pillar"	約5分 5 minutes	
312	旧石器人の心 Humankind in the Old Stone Age	約8分 8 minutes	
313	心が描かれた縄文土器 Jomon People and Their Earthenware	約11分 11 minutes	
314	神殿～祈りの造形～ Temples—Places of Prayer	約11分 11 minutes	
315	アンデス文明の歴史(当館監修者 大貫良夫先生解説) Andean civilization	約6分 6 minutes	
316	インカ帝国とは(当館監修者 大貫良夫先生解説) The Inca Empire	約7分 7 minutes	
317	ティワナク文化について(当館監修者 大貫良夫先生解説) Tiwanaku culture	約7分 7 minutes	
318	アンデス文明の食べ物(当館監修者 大貫良夫先生解説) Andean foods	約9分 9 minutes	
319	アンデスの黄金製品(当館監修者 大貫良夫先生解説) Andean ornaments of gold	約6分 6 minutes	
320	アンデス最古の金製品発掘(当館監修者 大貫良夫先生解説) Ancient artifacts of gold from Kuntur Huasi	約13分 13 minutes	
321	エジプトの歴史(当館学術協力者 村治笙子先生解説) History of Egypt	約9分 9 minutes	
322	エジプトの国土(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Egypt	約5分 5 minutes	
323	ナイルの賜物(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Gifts of the Nile	約4分 4 minutes	
324	交易(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Trade	約3分 3 minutes	
325	エジプト発見の歴史(当館学術協力者 村治笙子先生解説) History of the Discovery of Egypt	約4分 4 minutes	
326	永遠のための芸術(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Art for the Ages	約5分 5 minutes	
327	セクメト像(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Statue of Sekhmet	約2分 2 minutes	
328	ヒエログリフ(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Hieroglyphs	約3分 3 minutes	
329	ヒエログリフが書かれたもの(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Objects with Hieroglyphs Carved or Painted on Them	約3分 3 minutes	
330	ツタンカーメンの部屋(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Tutankhamen's Room	約2分 2 minutes	
331	ミイラ作りの始まり(当館学術協力者 村治笙子先生解説) The Origins of Mummy Making	約4分 4 minutes	
332	オシリスの裁判(死者の書)(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Osiris' Judgment (Book of the Dead)	約3分 3 minutes	
333	人は死ぬとどうなるの?(当館学術協力者 村治笙子先生解説) The Afterlife according to the Egyptians"	約3分 3 minutes	

No	タイトル Titles	時間 Time	備考 Remarks
334	古代のファッション(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Fashion in Ancient Times	約3分 3 minutes	美術 ART
335	エジプトの神々(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Deities of Egypt	約3分 3 minutes	
336	現代のエジプト(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Modern Egypt	約3分 3 minutes	
401	舞囃子「高砂」"Maibayashi TAKASAGO" A Noh Play (without masks or costumes)	約16分 16 minutes	
402	能「羽衣 和合之舞」 A Noh Play ~HAGOROMO(THE FEATHER ROBE)~	約11分 11 minutes	
403	狂言「栗焼」 Kyogen play~KURIYAKI~	約27分 27 minutes	
404	能「狸々」 A Noh Play~SHOJO~	約31分 31 minutes	
405	狂言「口真似」 Kyogen play~KUCHIMANE~	約15分 15 minutes	
406	能「狸々乱」 A Noh Play~SHOJO MIDARE~	約35分 35 minutes	
407	関川鶴祐琵琶りサイタル「阿倍仲麻呂」 BIWA Recital~ABE NO NAKAMARO~	約23分 23 minutes	
408	関川鶴祐琵琶りサイタル「琵琶についてのお話」 A Talk about BIWA	約13分 13 minutes	
409	関川鶴祐琵琶りサイタル「敦盛」 BIWA Recital~ATSUMORI~	約25分 25 minutes	
410	日本舞踊 谷口裕和の会 「二人挽久」 Traditional Japanese Dance~NININ WANKYU~	約10分 10 minutes	
411	日本舞踊 谷口裕和の会 「京鹿子 娘道成寺」 Traditional Japanese Dance~KYOKANOKO MUSUME DOJOJI~	約20分 20 minutes	

特別展示

「広重名所江戸百景展 春の部 ～ゴッホらが愛した広重の浮世絵～」

1, 開催期間

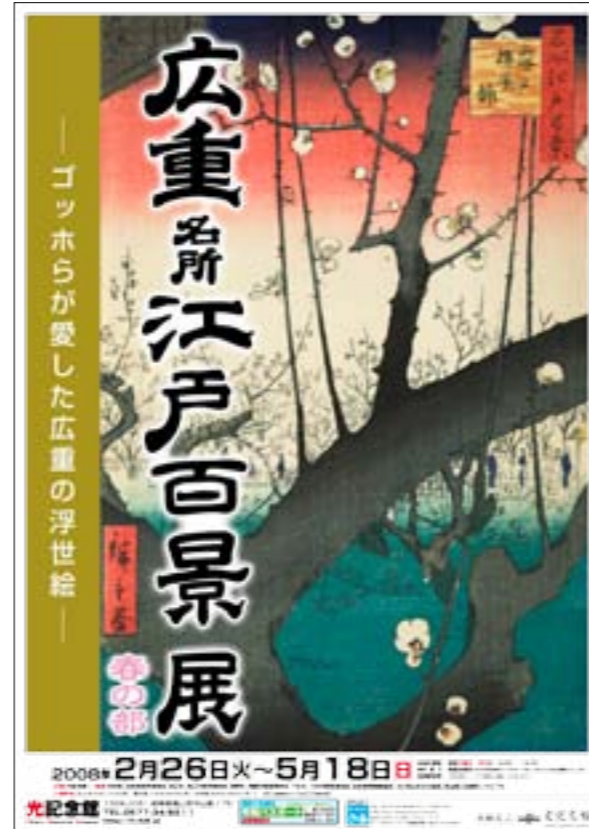
平成20年2月26日（火）～5月18日（日）

2, 展示概要

名所江戸百景とは、江戸時代後期の浮世絵師・歌川広重が安政3（1856）年から同5（1858）年にかけて描いた119枚の連作浮世絵で、最晩年の作品である。

何気ない江戸の風景でありながら、遠近法、俯瞰などを駆使した視点、また多岐にわたって取り入れたズームアップなど斬新な構図が多い。視覚的な面白さもさることながら、多版刷りの技術にも工夫が凝らしてあり、浮世絵としての完成度は随一といわれる作品である。

また、実際に「大橋阿たけの夕立」や「亀戸梅屋敷」を模写したゴッホをはじめ、「ジャポニズム」の代表作として西洋の画家に多大な影響を与えたシリーズで、本展ではその中より「春の部」として42点を展示した。



3, 後援

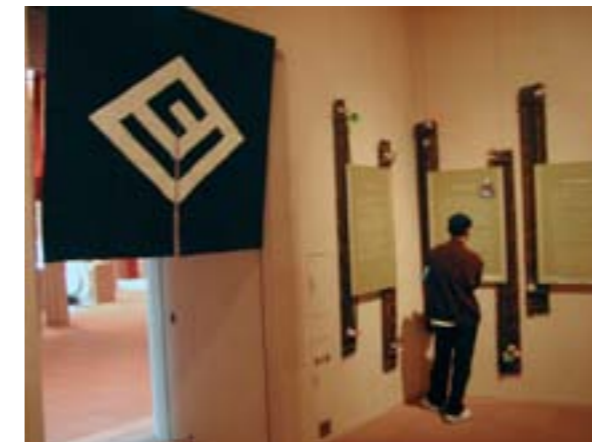
岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、（社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

4, 展示作品

分類名	作者名	資料名	制作年月日
版画	歌川広重	名所江戸百景（日本橋雪晴）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（霞かせ起）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（山下町日比谷外さくら田）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（永代橋佃し満）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（両ごく回向院元柳橋）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（馬喰學初音乃馬場）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（大てんま町木綿店）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（する賀てふ）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（筋違内八ッ小路）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（神田明神曙之景）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（上野清水堂不忍ノ池）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（上野山志た）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（下谷廣小路）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（日暮里寺院の林泉）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（日暮里諏訪の臺）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（千駄木團子坂花屋敷）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（飛鳥山北乃眺望）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（王子稲荷乃社）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（王子音無川堰セキ世俗大瀧ト唱）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（川口のわたし善光寺）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（芝愛宕山）	江戸後期

分類名	作者名	資料名	制作年月日
版画	歌川広重	名所江戸百景（廣尾ふる川）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（目黒千代か池）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（目黒新富士）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（目黒元不二）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（八景坂鏡掛姿）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（蒲田の梅園）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（品川御殿や満）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（砂むら元八まん）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（亀戸梅屋舗）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（吾嬭の森連理の梓）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（柳し満）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（四ッ木通用水引ふ祢）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（真乳山山谷掘夜景）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（隅田川水神の森真崎）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（真崎邊より水神の森内川関屋の里を見る圖）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（墨田河橋場乃渡かわら竜）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（廊中東雲）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（吾妻橋金龍山遠望）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（せ起口上水端はせ越庵椿や満）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（市ヶ谷八幡）	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景（玉川堤乃花）	江戸後期

4, 展示の様子



「世界のなに?!これ!?昆虫大集合～岐阜の自然と世界の大昆虫展～」

1, 開催期間

平成20年5月31日(土)～9月15日(月)
作品点数：約3万点(230箱)

2, 展示概要

岐阜の自然・昆虫をテーマにした展示室では、ギフトチョウをはじめとする岐阜で採取された昆虫標本と岐阜の自然を展示し、もう一室で世界の昆虫や日本で公開されたことのない昆虫、世界でも大変貴重な昆虫や世界各地の標本を展示した。

3, 主催・共催・後援

主催：岐阜の自然と世界の大昆虫展実行委員会
後援：岐阜県、岐阜県教育委員会、日本古生物学会、(財)日本科学協会、(財)自然史科学研究所、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、(社)高山文化協会、高山商工会議所、岐阜放送・岐阜新聞(ブラジル昆虫館・駐日ブラジル大使館)、Hits FM
協力：(株)桜風、(株)オールコーポレーション、光記念館
特別協力：奥本大三郎(日本昆虫協会 会長、NPO日本アンリファール会理事長、ファーブル昆虫記 翻訳者)、ハンバーグレストラン「びっくりドンキー」



4, 展示内容

- グラフィック -
- ・ごあいさつ
- ・昆虫とは
- ・種類の最も多い地域 東南アジア
- ・虫愛する日本
- ・ヨーロッパその他
- ・南米の昆虫
- ・アフリカの昆虫たち
- ・共存共栄

大森 清孝先生【飛騨自然史学会 理事】

- グラフィック
- ・多様な種類の昆虫たち
 - ・身近な昆虫たち～ホタル～
 - ・身近な昆虫たち～チョウ～
 - ・身近な昆虫たち～ハチ～
 - ・虫から見た環境保全

小野木 三郎先生【(財)日本自然保護協会 参与】

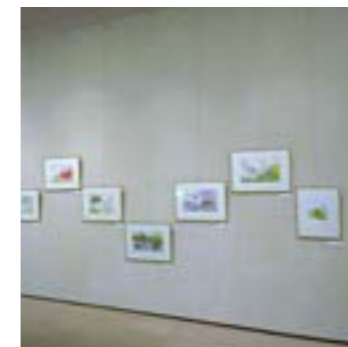
- グラフィック
- ・地球の植生
 - ・日本列島の植生
 - ・豊かな哺乳動物
 - ・金華山のシイ林(照葉樹林)
 - ・飛騨山間のブナ原生林
 - ・日本のブナ林の特色
 - ・ハナノキ・ヒトツバタゴ・シデコブシ
 - ・原始的な花のつくりの被子植物たち
 - ・特産の珍しい植物
 - ・薪炭林の四季
 - ・動植物のつながり
 - ・植物分布の十字路
 - ・スマイルの王国
 - ・日本海側要素と太平洋側要素
 - ・モミジ(カエデ)紅葉の世界
 - ・ヤマハハコの葉形変異
 - ・今、自然界に異変が!
 - ・オオキンケイギクとオオハンゴンソウ
 - ・外来動物の野生化
 - ・外来生物法を知っていますか?
 - ・絶滅が心配される植物

5, 展示の様子

(1) 世界初公開のタカネリクワガタ、一般初公開の完全究極黒化のギフトチョウの異常型、トリバネアゲハの翅脈・翅室の謎のスケルトン化、NPO法人日本アンリファール会 理事長 奥本大三郎先生の秘蔵品、異常型・白化型・薄色彩・紋異常など40点。



(2) 熊田千佳慕の昆虫原画展示10点



(3) カラー・デザイン昆虫標本展示



(4) ペーパークラフト展示



(5) ファーブル昆虫記原著展示



(6) ギフチョウの展示・映像解説



(7) アジア・日本・南米（世界最大級のヘラクレスオオカブト）・アフリカ・その他の地域の昆虫展示



(8) 開けてみる昆虫等・昆虫化石



(9) 擬態昆虫・体験学習・写真撮影コーナー





(10) 大森先生グラフィック・環境をテーマとしたパネル展・小野木先生グラフィック



(11) 昆虫生態展示 ヘラクレスオオカブトに触っちゃおう！コーナー



「第1回 現代木彫根付公募展～木の国から世界へ～」

1, 開催期間

平成20年9月27日（土）～12月15日（月）

2, 展示概要

根付は、作者と使う物とが遊び心を共有して楽しむ芸術品である。19世紀後半に浮世絵等と共にジャポニズムとして海外に広がり、“小さくても宇宙を表現できるもの”“木の宝石”として世界に価値を認められた。

文献に「木の国 伊勢・飛騨の匠たちによる」と記されていることから、伊勢と飛騨の木彫に始まったことがわかっている。その後象牙でも優れた作品が作られたが、1973年以降ワシントン条約の採択により、象牙の作品は国外へ持ち出すことが出来なくなった。

飛騨匠根付会と伊勢根付会は、今こそ原点に還って木の国の先人たちの感性と技を後世に伝えと共に、埋もれた才能を発掘し、新しい感覚を創造したいと考えた。そのため「第1回 現代木彫根付公募展」を開催し、木の国日本から世界に誇る“匠の技”をご覧頂いた。



3, 主催・共催・後援

主催：現代木彫根付公募展運営委員会

共催：伊勢根付会、飛騨匠根付会、光記念館

後援：岐阜県、三重県、高山市、伊勢市、高山商工会議所

4, 展示作品

作者	タイトル	材質	備考
高木睦仙	タコと魚の目	黄楊	大賞
向田陽佳	芭蕉三句	黄楊	最優秀賞
挾土宝源	石猿	棗・黄楊	優秀賞
葦夏月	黄金虫	朝熊黄楊	奨励賞
鎌倉成広	待ちぼうけ	黄楊	奨励賞
小野辺一福	恋の季節	黄楊	特別賞
田中圓昭	アスリート（うさぎ）	黄楊	特別賞
谷本義隆	ボク…牛？	黄楊	特別賞
秋山言齋	相州足柄流緊縛術	黄楊	審査員特別賞
黒岩明	密の味	黄楊	
石井由美	墨壺	朴	
小野辺一福	黒牛	黒檀	
鈴木一英	河童の雨宿り	棗	
松宮雲舟	あ・うん？	黄楊・水牛の角（目）	
田中圓昭	釣鼠	黄楊	
日下部音十	破顔一笑	黄楊	
日下部音十	牛睡	黄楊・へご	
鹿島和恵	贈物	黄楊	
中村和明	七転び八起き	黄楊	
金井正雄	怪盗「鬼姫」	黄楊	
素川元	猫かぶり	ぶな・へご	

作者	タイトル	材質	備考
素川元	ゾウのたまご	つばき・へご	
秋山言齋	平手造酒	黄楊	
三本木昭一	泥浴びした子カバ	栗	
小釣紫苑	薔薇	朝熊黄楊	
安達聖大	茹で蛙	黄楊	
工藤茂道	ぶどうにねずみ	黄楊	
工藤茂道	とら	黄楊	
升元一	ドン	黄楊	
森本節治	巳	黄楊	
森本節治	達磨（七転八起）	黄楊	
中畑泰成	月見酒	黄楊	
下谷高広	ねむりなまず	黒柿	
下谷高広	ひっくり蛙	黄楊	
中畑泰成	絆	黄楊	
森川忠	ぐいっ	黄楊	
井上猛	絆	黄楊	
井上猛	足柄山	黄楊	
平賀胤壽	舞装	黄楊・黒檀	
谷口傳幸	獅子	黄楊	
谷口傳幸	龍馬	黄楊	
田中俊暁	邂逅	桜材	
東直	静から動へ	黄楊・へご・貝	
葦夏月	蟹さんの休日	朝熊黄楊	
鎌倉成広	クルミとねずみ	棗	
野垣内秀也	菌みがき	黄楊	
挾土宝源	ドクターバック	棗	
頓所昆山	Little 恵比寿	黄楊	
頓所昆山	葛玄	黄楊	
阪井正美	白狐	黄楊・へご	
阪井正美	獅子	黄楊・へご	
高木睦仙	頭骸骨（ティラノサウルス）	黄楊	
吉野昌広	めぐる命	棗	
駒田柳之	見返り幽霊	デザイナートアイアンウッド	協賛出品
中川忠峰	三すくみ	黄楊	協賛出品
東勝廣	運の良い子	黄楊	協賛出品
東勝廣	無事に帰る	黄楊	協賛出品

4, 展示の様子



「北斎 富嶽三十六景展～感動は言葉にできない～」

1, 開催期間

平成21年2月26日（木）～5月17日（日）

2, 展示概要

江戸後期の天才絵師 葛飾北斎。『富嶽三十六景』は北斎芸術の集大成ともいえる作品で、これにより浮世絵に風景画の分野が確立された。

光記念館では、開館10周年を記念して『北斎 富嶽三十六景展』を開催、俗に「裏富士」と呼ばれる追加出版分10点を含む、全作品46点を一堂に公開した。

3, 後援

後援：岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、（社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM



4, 展示作品

分類名	作者名	資料名	制作年月日
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（凱風快晴）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（神奈川沖浪裏）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（山下白雨）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（深川万年橋下）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東都駿台）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（青山門座松）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（武州千住）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（武州玉川）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（甲州犬目峠）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（尾州不二見原）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東都浅草本願寺）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（武陽佃島）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（相州七里浜）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（相州梅沢左）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（甲州石班沢）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（甲州三島越）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（信州諏訪湖）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（駿州江尻）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（遠江山中）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（常州牛堀）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（江都駿河町三井見世略図）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（御鹿川岸より両国橋夕陽見）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（五百らかん寺さゝもどう）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（礪川雪ノ旦）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（下目黒）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（隠田の水車）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（相州江の島）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東海道江尻田子の浦略図）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東海道吉田）	江戸後期

分類名	作者名	資料名	制作年月日
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（上総ノ海路）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（江戸日本橋）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（隅田川関屋の里）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（登戸浦）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（相州箱根湖水）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（甲州三坂水面）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東海道程ヶ谷）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（本所立川）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（從千住花街眺望ノ不二）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東海道品川御殿山ノ不二）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（相州仲原）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（甲州伊沢眺）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（身延川裏不二）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（駿州大野新田）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（駿州片倉茶園ノ不二）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（東海道金谷ノ不二）	江戸後期
版画	葛飾北斎	富嶽三十六景（諸人登山）	江戸後期

4, 展示の様子



「シルクロード展 そして正倉院へ～東西の出会い旅遊記～」

1, 開催期間

平成21年5月30日（土）～9月6日（日）

2, 作品点数

約100点

- ・東京国立博物館蔵 正倉院宝物レプリカ3点
- ・藤沢市教育委員会「高橋コレクション」より実物30点
- ・光記念館蔵 実物約70点
- ・監修者蔵：現代参考資料約30点

3, 後援・協力・監修

後援：イタリア大使館、トルコ大使館、インド大使館、中華人民共和国大使館、岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜県博物館協会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

協力：東京国立博物館、藤沢市教育委員会

監修：村治肇子（エジプト文明研究家）



4, 展示目的

古代の東洋と西洋をつないで繁栄を遂げたシルクロードは、東西文化の交流を象徴する言葉として今日まで親しまれている。光記念館開館10周年を記念した本特別展では、ヨーロッパから日本までつながる文化交流の歴史を子供にも分かりやすく紹介することを目的とした。

5, 展示概要

本特別展では、展示目的に沿って小中学生にもわかりやすくシルクロードにおける文化交流の歴史を紹介するために工夫を凝らした。最新の画像・イラストを使用した大型グラフィックや子供も楽しめる参加・体験型の展示を心がけた。

具体的には、約100点の実物資料や約30点の現代の参考資料、模型などを展示、またグラフィックではシルクロードにおける交易や宗教の広がり、古代の東西世界の発展の様子を紹介した。さらに、現代のトルコのバザールで売られている商品の数々を風景写真とともに展示して、実際の雰囲気を再現したり、体験学習コーナーや写真撮影コーナーを設置した。

6, 展示作品

資料名	文化・時代	材質	所蔵
模造 桑木阮咸（レプリカ）	明治時代	木	東京国立博物館
模造 木画二十四弦箏（レプリカ）	大正14年	木	東京国立博物館
模造 黒柿蘇芳染金銀山水絵箱（レプリカ）	昭和7年（1933）	木	東京国立博物館
オリンボス12神文鉢	2世紀	土	藤沢市教育委員会
ミルフィオリ碗	紀元前1世紀	ガラス	藤沢市教育委員会
皿	1世紀	ガラス	藤沢市教育委員会
双面文壺	1-2世紀	ガラス	藤沢市教育委員会

資料名	文化・時代	材質	所蔵
騎馬人物	バルティア時代	土	藤沢市教育委員会
人面	ビザンツ時代、4-7世紀	金	藤沢市教育委員会
人面	ビザンツ時代、4-7世紀	金	藤沢市教育委員会
装身具	6-8世紀	金・ガラス	藤沢市教育委員会
指輪	ローマ時代	金・貴石	藤沢市教育委員会
手形垂飾り	ビザンツ時代	銀	藤沢市教育委員会
貨幣（6点セット）	ローマ時代	銅	藤沢市教育委員会
テッセラ	不明	土	藤沢市教育委員会
モザイク片（6点セット）	ローマ時代	ガラス	藤沢市教育委員会
指輪	ササン朝時代	銀、ガラス	藤沢市教育委員会
指輪	ササン朝時代	青銅	藤沢市教育委員会
腕輪	イスラーム時代、15世紀以降	青銅	藤沢市教育委員会
切子装飾碗	ササン朝時代	ガラス	藤沢市教育委員会
方形容器	イスラーム時代	ガラス	藤沢市教育委員会
リュトン	紀元前後頃	土	藤沢市教育委員会
蓋付円柱形杯	イスラーム時代	青銅	藤沢市教育委員会
火薬弾用土器	イスラーム期	土	藤沢市教育委員会
舍利容器	3-4世紀	石	藤沢市教育委員会
舍利容器内包物	不明		藤沢市教育委員会
仏頭	3-4世紀	スツッコ	藤沢市教育委員会
仏伝彫刻	不明	石	藤沢市教育委員会
仏塔	7-10世紀	石	藤沢市教育委員会
仏足スタンプ	不明	金属	藤沢市教育委員会
轡	不明	青銅	藤沢市教育委員会
圭	不明	玉	藤沢市教育委員会
海獣葡萄鏡	唐時代	青銅	藤沢市教育委員会
十六花卉・人物印章	紀元前559～紀元前331年		光記念館
練りガラス壺	紀元前3世紀～紀元前2世紀	ガラス	光記念館
黒彩彩文オニコノエ	紀元前6世紀頃		光記念館
赤色刻文長首壺	紀元前2300年～紀元前1900年	土	光記念館
青銅人物像	紀元前9世紀～8世紀	青銅	光記念館
卍形青銅ブローチ	紀元前8世紀	青銅	光記念館
幾何学文取っ手付き水差し	紀元前850年～紀元前750年	土	光記念館
奉納板	第26王朝	ファイアンス	光記念館
浅浮き彫り石碑	紀元前700年～紀元前525年	石灰岩	光記念館
青銅トト神像	ヘレニズムI期	青銅	光記念館
五星・九花卉文土製ランプ	紀元前332～紀元前167年	土	光記念館
人物文紅玉髓印章	紀元前1世紀		光記念館
テラコッタ・ヴィーナス像	紀元前330～紀元前200年	土	光記念館
少年頭部塑像	紀元前330～紀元前200年	土	光記念館
白地朱彩鳩土偶	紀元前4世紀後半～紀元前3世紀前半	土	光記念館
イシス神のアミュレット	プトレマイオス朝	ファイアンス	光記念館
セラピス神胸像	プトレマイオス朝	青銅	光記念館
オキシリンコス	プトレマイオス朝	青銅	光記念館
鬘のモザイクガラス	プトレマイオス朝		光記念館
顔の彫刻モデル	プトレマイオス朝	石灰岩	光記念館
足の彫刻モデル	プトレマイオス朝	石灰岩	光記念館
練りガラス腕輪	1-3世紀	ガラス	光記念館
練りガラス腕輪	1-3世紀	ガラス	光記念館
糸底大皿	1世紀	土	光記念館
象牙サイコロ	紀元前330～63年	骨	光記念館
トンボ玉ネックレス	紀元前後	ガラス	光記念館
トンボ玉ネックレス	紀元前後	ガラス	光記念館
トンボ玉ネックレス	紀元前後	ガラス	光記念館
練りガラス小瓶	1世紀	ガラス	光記念館
銀化片耳水差し	1世紀	ガラス	光記念館
青銅壺	紀元前2世紀～紀元前1世紀	青銅	光記念館
天使像	ローマ期		光記念館
花崗岩皿	紀元前30年～紀元395年	花崗岩	光記念館
コプト織（兎文裂）	4世紀～5世紀		光記念館
コプト織	不明		光記念館
コプト織	不明		光記念館

資料名	文化・時代	材質	所蔵
コプト織幾何学文	不明		光記念館
八方位文土製ランプ	324～640年	土	光記念館
銀化広口瓶	紀元500年～600年	ガラス	光記念館
花文綴れ織コプト裂	紀元400年～	布	光記念館
人・駱駝文綴れ織コプト裂	5世紀	布	光記念館
ラピスラズリ印章指輪	3～5世紀	石・金	光記念館
草花彩文鉢	10世紀	土	光記念館
青黒二色彩文鉢	13世紀	土	光記念館
三彩鉢	9世紀	土	光記念館
白釉藍条文取っ手付き壺	9世紀	土	光記念館
ラスター彩人物文鉢	13世紀	土	光記念館
白地黒色彩文鉢	12世紀	土	光記念館
毛織錦	17世紀	布	光記念館
赤色長首壺	14～16世紀	土	光記念館
天女像石彫	北斎時代		光記念館
彩色女人俑	不明		光記念館
灰陶彩色女人俑	唐時代	土	光記念館
灰陶彩馬俑	不明		光記念館
漆喰（スタッコ）人物像頭部	唐時代	土	光記念館
石硯	宋時代	石	光記念館
青銅製牛像	紀元前2世紀～紀元前1世紀		光記念館
魚形玉	商時代	石	光記念館
玉鉞	商時代	石	光記念館
獣面玉	春秋時代	石	光記念館
土製印章	ハラッパ文化	土	光記念館
石製印章	ハラッパ文化	石	光記念館
牛と文字の凍石印章	ハラッパ文化	石	光記念館
石彫仏頭	ガンダーラ文化	石	光記念館
彩色漆喰彫像	クシャーン文化	石	光記念館
木彫拳手仏具	中世	木	光記念館
青銅人馬像	不明	青銅	光記念館
彩色武人俑	北朝		光記念館
石彫人物トルソ	クメール文化	石	光記念館
トンボ玉（2点）	不明	ガラス	光記念館
観音菩薩（聖観音）立像	平安時代頃	木	光記念館

7. 展示の様子

1) 導入部：ご挨拶文・中国からイタリアまでのシルクロードイメージグラフィック



2) 「シルクロード旅行記」コーナー

西遊記の飛び出す絵本、マルコ・ポーロ、アラビアンナイト



3) 「壮大な交流」コーナー

○大型地図を走る電車と建造物模型、大型映像 ○シルクロードで活躍した商人、動物、船 ○シルクロードの交易品 ○体験学習：文字スタンプ、楽器、香料、シルク



4) 「宗教の広がり」コーナー

○シルクロードの宗教建造物 ○三大宗教とシルクロード ○現代参考資料（聖典、コプト十字）



5) 「シルクロードのパザール」コーナー

○現在のパザール(トルコ・イスタンブール)イメージグラフィック ○現在参考資料の展示：シルク製品、金・銀製品、香辛料、陶磁器、アクセサリ



6) 「古代世界の発展」

- 考古資料 (オリエント、ヘレニズム、ローマ、ビザンツ、ササン朝、イスラム、インド、中国、日本)
- 観音菩薩像 ○正倉院宝物レプリカ ○各地の歴史、文化、交流の紹介グラフィック ○映像 シルクロード憧憬 マルコ・ポーロ 遙かなる東方への旅 日経ナショナルジオグラフィック社



7) 「その他の展示」

- シルクロードの有名人 ○日本の商店街 ○写真撮影コーナー (パルミラ、敦煌、砂漠、モスク)
- シルクロード各地の衣装 (スルタン、サリー、チャイナ服、アオザイ等)



「光記念館日本画名品選」

1, 開催期間

平成21年9月19日 (土) ~12月13日 (日)

2, 展示概要

当館ではエジプト、メソポタミア、インドス、ギリシアなど世界の古美術から加山又造、東山魁夷らの近現代日本画まで、広範囲で多数の名品を所蔵している。その膨大な所蔵品の中から日本画の名品を一挙に公開した。今もって世界中の人々を魅了し続けている葛飾北斎、多くの印象派画家に影響を与えた叙情の画家・歌川広重、近代日本画の確立に寄与した横山大観・菱田春草、美人画家として名高い上村松園・鏑木清方など選りすぐりの作品をご覧頂いた。

3, 後援

後援：岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

葛飾北斎 横山大観 上村松園 速水御舟
谷文晁 川合玉堂 鏑木清方 伊東深水
歌川広重 菱田春草 前田香都 他

平成21年9月19日 (土) ~12月13日 (日)

光記念館 [地下2階企画展示室]
【お問い合わせ】光記念館：0577-34-6511

開館10周年記念 特別展
光記念館 日本画名品選
10th Anniversary Special Exhibition HIKARU MUSEUM Masterpieces of Japanese Painting

3, 展示作品

分類名	作者名	資料名	制作年月日
日本画	伊東深水	秋晴	不詳 (明治48~昭和47年)
日本画	上村松園	四季美人図	明治25年 1892年
日本画	上村松園	三美人之図	明治41年 1908年
日本画	上村松園	わか葉の頃	昭和14年 1939年
日本画	奥村土牛	紅椿	昭和30 (1955) 年頃
日本画	鏑木清方	紅葉	不詳 (明治24年~昭和47年)
日本画	鏑木清方	今様浅妻船	昭和13 (1938) 年頃
日本画	鏑木清方	卯月の装	明治31 (1956) 年
日本画	加山又造	龍図	昭和63 (1988) 年
日本画	川合玉堂	湖山月明	昭和2 (1927) 年
日本画	川合玉堂	山村積雪	不詳 (明治20年~昭和32年)
日本画	川合玉堂	夏冬山水	大正10 (1921) 年
日本画	川合玉堂	古城春夕	昭和17 (1942) 年
日本画	河鍋晩斎	竜神図	明治初期
日本画	郷倉千靱	四月の頃	昭和28 (1953) 年
日本画	小杉未醒	たいざん木	不詳 (昭和1年~39年)
日本画	佐藤太清	旅愁	昭和61 (1986) 年
日本画	下村観山	武陵桃源	不詳 (明治22年~昭和5年)
日本画	竹内栖鳳	冬晴	昭和10 (1935) 年頃
日本画	谷文晁	月下漁夫図	寛政8 (1796) 年
日本画	富田溪仙	麒麟図	大正14 (1925) 年
日本画	橋本雅邦	秋趣	明治10 (1877) 年頃
日本画	速水御舟	牡丹睡猫	大正15 (1926) 年
日本画	東山魁夷	嵐	昭和15 (1940) 年
日本画	菱田春草	湖辺	明治35 (1902) 年
日本画	菱田春草	瀑布(流動)	明治34 (1901) 年

分類名	作者名	資料名	制作年月日
日本画	前田青邨	敵鳥	大正6 (1917) 年頃
日本画	村上華岳	牡丹図	大正10 (1921) 年
日本画	横山大観	怒涛	不詳 (明治22~昭和33年)
日本画	横山大観	月下の雁	不詳 (明治22~昭和33年)
日本画	横山大観	不二霊峰	不詳 (大正~昭和33年)
版画	歌川広重	名所江戸百景 (水道橋駿河臺)	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景 (亀戸天神境内)	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景 (浅草金龍山)	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景 (浅草田甫西の町詣)	江戸後期
版画	歌川広重	名所江戸百景 (深川洲崎十萬坪)	江戸後期
工芸	康次	太刀 銘康次	鎌倉時代
浮世絵	歌川国次	七世市川团十郎隅田川渡舟図	江戸後期
浮世絵	歌川広重	勸進帳	江戸後期
浮世絵	葛飾北斎	日蓮	江戸後期
浮世絵	葛飾北斎	日・龍・月	江戸後期
浮世絵	宮川長春	立ち美人	江戸中期

5. 展示の様子



企画展示

「いのちをつなぐ食」

1, 開催期間

平成20年10月30日（木）～開催中

2, 展示目的

生きる為に不可欠な「食」を「いのち」という視点から見つめ来館者にいのちや食、そのつながりや意味について考える機会を提供する。

3, 展示内容

「食の素材」「家庭での食」「郷土の食」の三つの項目を取り上げた。

「郷土の食」ではいのちをつなぐ祈りと智慧、「家庭での食」では家庭という日常の生活の中の食と家族、いのちのつながり、「食の素材」では食材はいのちや恵みであるという側面を紹介した。

三つの項目についてそれぞれの特徴を踏まえたグラフィックや体験コーナーにより様々な年代の来館者に対応することができた。

4, 展示の様子



「橋本龍太郎フォトメッセージ～地球家族バンザイ～」

1, 開催期間

平成21年2月26日（木）～5月17日（日）

2, 展示概要

橋本龍太郎氏は昭和12年、東京都渋谷区に大蔵官僚・橋本龍伍の長男として生まれた。社会人3年目の時、既に政治家へと転身していた父の急死により、政界という予期せぬ道に進むことになった。その後、大臣や自由民主党総裁、内閣総理大臣を務め、平成18年7月に68歳の生涯を閉じた。彼は多くの趣味を持っていたが、カメラは父の影響で幼少の頃から特に親しんだ。プライベートな旅行はもちろんのこと、公務で海外に行く時でも必ずカメラを携え、移動中の町中や会議の合間など時間を見つけてはシャッターを切り、様々な様相を写真に残している。この展示会では、普段知り得なかった同氏の優しい人柄や人間性に触れられるような写真とメッセージを公開した。

3, 協力

林原美術館

4, 展示の様子



企画展
橋本龍太郎フォトメッセージ
～地球家族バンザイ～
平成21年 2月26日(木)～5月17日(日)
主催：光記念館 協力：林原美術館



橋本龍太郎氏は昭和12年、東京都渋谷区に大蔵官僚・橋本龍伍の長男として生まれました。社会人になって3年目の昭和27年、既に政治家から政治家へと転身していた父の急死により、政界という予期せぬ道に進むことになった。その後、大臣や自由民主党総裁を経て、平成18年7月には内閣総理大臣も務め、平成18年7月に68歳の生涯を閉じた。多忙の中にあっても多くの趣味を持っていた龍太郎は、父の影響で幼少の頃から写真に親しみ、プライベートな旅行はもちろん、公務で海外に行く時でも、必ずカメラを携え、移動中の町中や会議の合間など、余隙の隙間を捉えてはシャッターを切り、様々な様相を写真に残している。今回の展示会では、橋本龍太郎自身が撮影した写真を展示し、そこに込められたメッセージと橋本龍太郎の偉大な人生を想っていた日々を伝えたい。





「第2回 現代木彫根付公募展～木の国から世界へ～」

1, 開催期間

平成21年9月19日（土）～12月13日（日）

2, 展示概要

江戸の粋や洒落の代表的存在であり、日本の伝統文化の一つでありながら、明治以降日本人がすっかり忘れてしまった根付が今、徐々に見直されてきた。また、根付の魅力である材質と高い技術水準、そこに込められた自由な意匠から「凝縮された芸術の小宇宙」や「木の宝石」として世界がその価値を認めている。光記念館では、根付発祥の地である木の国飛騨と伊勢から「匠の技」を世界へ発信し、また、現代の感覚に合わせた新しい「現代根付」を創造すべく、「第2回世界現代木彫根付公募展」の開催に協力し、入賞・受賞作66点を展示した。

3, 主催・共催・後援

主催：現代木彫根付公募展運営委員会
共催：伊勢根付会、飛騨匠根付会、光記念館
後援：岐阜県、高山市、伊勢市、高山商工会議所

4, 展示作品

タイトル	作者	材質	備考
因幡の素兎	松井昌	柘植	大賞
明石じゃ常識・蛸井	中川東平	黄楊	最優秀賞
壱栗蛙	高木睦仙	黄楊	京都清水寺賞
はこぶぐ	森本節治	黄楊	優秀賞
耳なし芳一	秋山言齋	黄楊	特別賞
秋想う	黒岩明	漆	奨励賞
あるがままで	谷本義隆	黄楊	ドクター佐藤賞
蓮に蛙	中川東平	黄楊	
仔ブタに真珠	高木睦仙	黄楊	
斉藤道三	秋山言齋	黄楊	
マッドスキッパー	鎌倉成広	木鬼	
歳寒三友	林本孝之	棗	
鈴虫	林本孝之	黄楊	
泳ぎを練習している子かば	三本木昭一	棗	
縁結び	三本木桂子	棗	
孫	素川元克	棗	
親方	素川元克	棗	
ハウスキ	山崎薫	棗	
鯀	川上秀男	白真弓	
虎の衣を借る猫	鈴木一英	棗	
月の使者	谷口広	一位	
竹取翁	田中圓昭	黄楊	
獅子舞	田中圓昭	黄楊	
亀甲	中畑泰成	黄楊	
ねずみとかぼちゃ	田下聡	黄楊	
戦車と洗車	足立幸二	黄楊	
冬中夏草	大竹亮輔	黄楊	



タイトル	作者	材質	備考
鳥賊に蛾	大竹亮輔	黄楊	
栗鼠	吉野昌広	棗	
亀型印鑑根付	挾土宝源	黄楊	
大は小を兼ねません	佐々木由美子	真弓	
花王	北角日出子	黄楊	
トラの皮	福本正則	黄楊	
考える籠	福本正則	黄楊	
鐘馗	小野里三味	棗	
犬と野ざらし	藤川光斉	黄楊	
玉遊び	藤川光斉	紅木	
ドジョウの産卵	田上稔夫	黄楊	
栃の実	神立る峯	黄楊	
三疎と御縁	小野辺一福	黄楊	
夏は来ぬ	田中俊晴	桜材	
屋久猿の親子	佐々木元	おんこ	
油断大敵	谷口笑仙	黄楊	
春眠	谷口笑仙	黄楊	
鎮魂の調べ	葛谷洋一	黄楊	
余裕の睨	山田純	黄楊	
ロリス	升元一	黄楊	
ボス	升元一	黄楊	
メタモルフォーゼ変身	小釣誠	黄楊	
四君子と山姫	井上猛	黄楊	
慈愛	頓所毘山	黄楊	
おふくちゃん	頓所毘山	黄楊	
巣イートホーム	石山夢峰	黄楊	
浜に蛙	川村掘坂	黄楊	
猫好	市橋政道	黒柿	
大黒鼠	葦夏月	黒檀	
片思い	堀独歩	桜材	
TWO FACE	堀独歩	桜材	
親子	中村和明	黄楊	
松毬	前田中	黄楊	
Solo (ひとり)	Janel Jacobason	シラリ・ヒイラギ	
ナスとミツバチ	北澤彦一	紫檀	
亀	阪井正美	黄楊	
海女	駒田柳之	黄楊	協賛出品
やどかり	中川忠峰	黄楊	協賛出品
瓢箪鯨	東勝廣	黄楊	協賛出品



5. 展示の様子



講演会

「シルクロード展 展示解説」

1, 開催日時

平成21年6月5日（金）12:00～15:00

2, 講師

村治笙子先生（エジプト文明研究家）

3, 場所

地下2階 特別展「シルクロード展」展示室内

4, 参加人数

約170人

5, 講演会概要

高山市立日枝中学校の生徒を対象に実施した。本展監修の村治先生よりシルクロードを通して交流した宗教、文化、考古資料の解説を頂いた後、各国の民族衣装を着て記念撮影をするなど多様な文化に触れる体験学習も行った。

6, 講演会の様子



出張美術館

1.実施にあたって

展覧会の開催のみならず、美術館・博物館を活用した小・中学生に対する心の教育などが効果的とされている今日、美術館・博物館にはその重要性に応じた活動が求められている。そこで、子どもたちがこれからの社会の中で心豊かに、主体的、創造的に生きていくための資質や能力を身につけるのに、美術館・博物館で美術品や文化財に直に接する鑑賞教育や体験学習はきわめて有効と考えられている。

また、美術館・博物館にとっても、子どもたちの素朴な疑問や新鮮な感動にふれることは、親しまれ、魅力あふれる運営を行う上で有効である。

当館の出張美術館はこうした相互の向上と、日本の文化芸術立国を目指した次代の文化・芸術を担う人材の育成と養成、更に、文化力は国の力であるということを市民全体に認識してもらうために実施した。

2.平成20年度

実施施設

小学校

日付	学校名	人数
10/10(金)	高山市立山王小学校	115名(3クラス)
10/20(月)	高山市立清見小学校	28名(1クラス)
10/21(火)	高山市立丹生川小学校	42名(2クラス)
10/23(木)	高山市立南小学校	76名(2クラス)
10/27(月)	高山市立三枝小学校	47名(2クラス)
11/19(水)	高山市立江名子小学校	56名(2クラス)
11/21(金)	高山市立新宮小学校	77名(2クラス)
11/25(火)	高山市立北小学校	127名(4クラス)
11/26(水)	高山市立久々野小学校	39名(1クラス)
11/27(木)	高山市立東小学校	96名(3クラス)
12/2(火)	高山市立宮小学校	21名(1クラス)
12/8(月)	高山市立国府小学校	73名(2クラス)
12/9(火)	高山市立西小学校	27名(1クラス)
12/10(水)	高山市立花里小学校	52名(2クラス)

中学校

日付	学校名	人数
10/16(木)	高山市立東山中学校	126名(5クラス)
10/22(水)	高山市立中山中学校	127名(5クラス)
10/28(火)	高山市立丹生川中学校	43名(2クラス)
11/18(火)	高山市立日枝中学校	163名(5クラス)
12/1(月)	高山市立松倉中学校	158名(5クラス)

小学校作品リスト

資料名	作者名	備考
東海道五十三次『保土ヶ谷(新町橋)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『平塚(縄手道)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『府中(阿部川)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『日坂(佐夜ノ中山)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『浜松(冬枯ノ圖)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『御油(旅人留女)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『亀山(雪晴)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『大津(走井茶店)』	歌川広重	浮世絵版画

中学校作品リスト

資料名	作者名	備考
螢狩り	岩瀬京水	肉筆浮世絵
二見ヶ浦	歌川国継	肉筆浮世絵

資料名	作者名	備考
三世坂東三津五郎	歌川国久	肉筆浮世絵
傘持つ美人	喜多川吉麿	肉筆浮世絵
美人あわせ	溪斎英泉	肉筆浮世絵
遊女立姿	作者不詳	肉筆浮世絵
舟遊び	竹斎亭	肉筆浮世絵
ほととぎす美人	二代鳥居清忠	肉筆浮世絵
団扇持つ女	長谷川周春	肉筆浮世絵
紅葉の下	吉原真龍	肉筆浮世絵

掲載記事

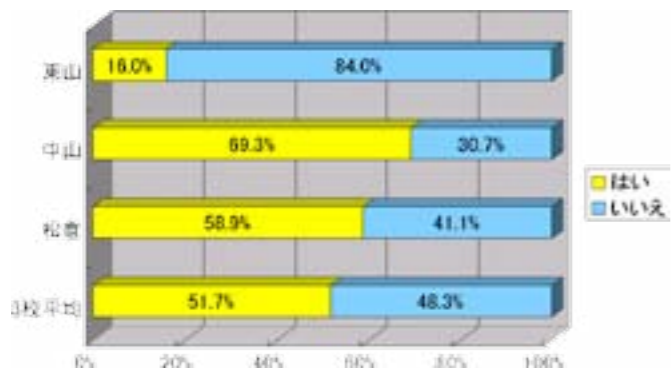


H20.10.18 岐阜新聞掲載
H22.10.18 岐阜新聞掲載

出張美術館成果について

1. 高山市内中学校にて今回、出張美術館を受けた生徒の回答

○小学生のときに出張美術館の授業を受けたことがありますか？



※丹生川中学校と日枝中学校に関しては、上記の3校と同じ条件で出張美術館をおこなっていない為、この表にデータを反映していない。

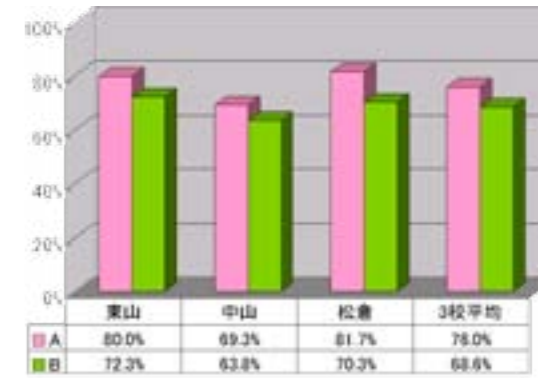
2. 「1.」で「はい」(小学校の時に出張美術館を受けている)と回答した生徒と全体の比較

- A 小学校の時に出張美術館を受けている生徒のみの割合
※ 出張美術館を受けている生徒 → 東海道五十三次の版画の授業
- B 中学校全体の割合

◇「浮世絵」に興味がある生徒



◇「広重」を知っている生徒



◇「広重」の本物の作品を見た事がある生徒



～所感～

小学校の時に出張美術館を受けている生徒は、受けていない生徒と比べると浮世絵に対する興味や認識が高く、出張美術館を行ったことが有益であったといえる。しかし、出張美術館は受けたことがあるが、誰のどんな作品を見たかということに関しては覚えていない生徒も多いことがアンケート結果より読み取れた。この結果を受けて、今後は、授業後に復習できるようなワークシートを作っていくことが必要だと感じた。

出張美術館の様子



3,平成21年度

実施施設

小学校

日付	学校名	人数
10/6 (火)	山王小学校	95名 (3クラス)
10/7 (水)	宮小学校	29名 (1クラス)
10/19 (月)	新宮小学校	91名 (3クラス)
10/21 (水)	南小学校	68名 (2クラス)
10/22 (木)	丹生川小学校	49名 (2クラス)
10/29 (木)	清見小学校	24名 (1クラス)
10/30 (金)	江名子小学校	62名 (2クラス)
11/24 (火)	国府小学校	73名 (2クラス)
11/25 (水)	三枝小学校	34名 (1クラス)
11/26 (木)	北小学校	123名 (4クラス)
11/27 (金)	久々野小学校	43名 (1クラス)
12/1 (火)	花里小学校	40名 (1クラス)
12/11 (金)	東小学校	93名 (3クラス)
12/17 (木)	西小学校	33名 (1クラス)

中学校

日付	学校名	人数
10/5 (月)	東山中学校	112名 (3クラス)
10/27 (火)	丹生川中学校	54名 (2クラス)
11/19 (木)	日枝中学校	199名 (5クラス)
11/30 (月)	山中中学校	188名 (5クラス)
12/8 (火)	松倉中学校	160名 (4クラス)

小学校作品リスト

資料名	作者名	備考
東海道五十三次『神奈川(台之景)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『沼津(黄昏図)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『由比(薩嶺)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『鞠子(名物茶店)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『島田(大井川駿岸)』	歌川広重	浮世絵版画
東海道五十三次『草津(名物立場)』	歌川広重	浮世絵版画

中学校作品リスト

資料名	作者名	備考
名所江戸百景(目黒新富士)	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景(真乳山山谷掘夜景)	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景(市ヶ谷八幡)	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景(は柵たのわたり辨天の社)	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景(神田紺屋町)	歌川広重	浮世絵版画
名所江戸百景(愛宕下敷小路)	歌川広重	浮世絵版画
遊女	浅泉居寛交	肉筆浮世絵

掲載記事



H21.10.06 中日新聞掲載
出張美術館の様子





体験学習

高山市市民部 生涯学習課主催 土曜教室

□古代からのメッセージ部門

サイエンスショー 静電気編

開催日時：平成20年6月14日(土) 10:30～12:00

開催場所：工作室

対象年齢：小学4年生～小学6年生

参加人数：9名

参加費：無料

目的：ショー形式で静電気の仕組みなどを説明しながら科学への興味を促す。

内容：風船などの身近な道具を使って静電気を起こし、+の帯電物と-の帯電物の実験を通し理解を促す体験学習。

評価：シャボン玉や風船を使っての実験で、解りやすく説明できた。

課題：湿度が高く、静電気がなかなか発生しなかった。又、ジャンボシャボン玉を作る予定だったが、予定の大きさに膨らまなかった。

状況：参加者からは「静電気の仕組みが分かった。」「楽しく学習出来た。」等の感想を多く頂いた。

所感：参加者は、最後まで興味を持って学習できた様子だった。又、ビニールコップとアルミホイルを使った蓄電池の実験は、特に反応が良かった。



電子工作に挑戦！

～光感知音声再生機を作ろう！～

開催日時：平成20年11月15日(土)13:00～16:50

開催場所：工作室

対象年齢：小学4年生～中学生

参加人数：14名

参加費：600円

目的：入門用の電子工作キットを使い、説明をしながら半田付けを行い科学への興味を促す。

内容：電子工作キットを使い半田こての扱い方、部品の説明などをしながら完成させる体験学習。

評価：初めて電子工作をする児童が多く、完成品を見てもイメージが掴めないようだった。半田付けの要領が掴めてくると楽しそうに次々と半田付けをしていた。途中、やけどをした為、継続する気が失われ途中退出した参加者もいたが、他の参加者は皆完成させる事ができた。

課題：今後は、怪我をした時の対処の仕方や、連絡の流れを、スタッフ内で話し合う必要がある。又、立ち歩きの多い子供に対してのルール決めを徹底しておく必要がある。

状況：参加者からは「半田を溶かすのが難しい。」「隣の部品につけないようにするのが難しい。」という声が多かったが、完成した時はとても満足していた。先に完成した子供が遅い子供を手伝うなど、お互い助け合って作成していた。

所感：今回の体験学習は、使用するキットが多かった為、かなりの時間を費やすこととなった。参加者の技量もまちまちで、完成させるまでの時間差はかなり大きかった。しかし、達成感もその分大きかった様に感じた。又、参加者の感性、嗜好、興味に大きく影響を与える事が出来た。

その他：今後は、バケツ(水)や濡れたタオルなどを用意しておくことも必要。



□飛驒部門

光って走る三葉虫を作ろう！

開催日時：平成20年4月26日(土)10:30～12:00

開催場所：工作室

対象年齢：小学1年生～小学3年生

参加人数：10名

参加費：無料

目的：動く三葉虫の工作を通して、三葉虫が生きていた時代や環境、又、三葉虫が果たした役割や生命の役割を三葉虫の化石に触れながら学習し、それと同時に飛驒地域の環境の移り変わりも学ぶ。古生物に対する興味や関心を促すことを目的とする。

内容：折り紙で作った三葉虫に蓄光塗料を塗り、端材のトレイ、乾電池、輪ゴムを使って、光って走る三葉虫を作る体験学習。

評価：保護者からは「また参加させたい。」「子供にとって良かった。」「等」の感想を頂いた。又、参加者からは「面白かった。」「という感想を多く頂いた。大変良い体験学習が出来た。

課題：教育委員会との連絡を詳細に行い、参加者に満足して頂ける様な体験学習に心掛けていく事が、今後の課題となった。

状況：今回の体験学習は、参加者に大変お喜び頂いた。保護者の方からは「低学年向けの体験学習で良かった。」「楽しかった。」「との感想を頂いた。

所感：保護者からは「マイペースな子供達に気長に対応して下さい、有難うございます。」「皆で作る楽しさがあり、とても良い体験学習だった。」「等」の感想を頂いた。又、参加者からは「面白かった。」「という感想も多く頂いた。

その他：時間の連絡間違い、タイトル間違い、募集学年の間違いがあったことが残念だった。これからは、教育委員会と連絡を密にして、対応していく。



レプリカでアクセサリーを作ろう！

開催日時：平成20年5月17日(土)10:30～11:45

開催場所：飛驒展示室・工作室

対象年齢：小学1年生～小学3年生

参加人数：39名(うち保護者・未就学児20名)

参加費：50円

目的：レプリカでアクセサリーを作ると共に、古生物や化石について学習し、古生物に対する興味関心を促す。

内容：おゆまるでアンモナイトのレプリカを作り、紐と環を通してアクセサリーを作る体験学習。

評価：保護者の方々に手伝って頂き、比較的スムーズに作業が進んだ。又、作業内容が簡単で、低学年向けの体験学習だった。

課題：今後は対応人数を増やし、出来るだけ参加希望者のニーズに応じていく方向性で検討したい。



キラキラ光るホタルを作ろう！

開催日時：平成20年5月31日(土)13:30～14:30

開催場所：常設展示室前(美術展示室3)

対象年齢：小学1年生～小学3年生

参加人数：16名

参加費：230円

目的：点滅式のLEDと樹脂を使いキラキラ光るホタルを作ると共に、ホタルをはじめ様々な昆虫の生態や生息環境を学び、生命の大切さを感じる機会とする。

内容：ホビーキャスト(樹脂)と点滅式LEDを使い、ホタルを作る体験学習。

評価：内容は充実していた様に思う。

状況：保護者からは「家ではできないような体験が出来て、とても子供たちが楽しそうでした。」「硬化するまでの時間で、展示解説をしてもらいながら見ることができて嬉しかった。」「等の感想を頂いた。又、参加者からは「ホタルが光ったのが嬉しかった。」「等の感想を頂いた。

所感：作業内容が容易で、低学年向けの体験学習だった。又、樹脂が硬化する間に、昆虫展の展示解説をすると、子供たちは目をキラキラさせながら、魅入っている様子だった。



恐竜パズルを作ろう！

開催日時：平成21年5月23日(土)10:30～11:40

開催場所：光記念館案内所

対象年齢：小学1年生～4年生

参加人数：18名

参加費：360円

目的：恐竜のパズル作りを通して、古生物に対する興味・関心を促すと共に、化石からは分からない生きていた恐竜の色を考え創造力を養う事を目的とする。

内容：恐竜の下絵のパズルに色を塗り、パズルを完成させる体験学習。

評価：恐竜に興味を持つ参加者が多く、こちらからの問いかけに対して反応がよかった。又、完成したパズルには植物や肉食恐竜、太陽など恐竜が住んでいた環境を生き生きと描いていた。

課題：土曜教室参加確定の連絡方法の検討。

状況：参加者からは「パズルを組み立て、色を塗ったのが楽しかった」「化石を見れたことが楽しかった」保護者からは「パズルだけでなく、恐竜のことを教えてもらい楽しかった」「子供も化石に触ることがないので、良い経験になりました」という感想を頂いた。

所感：参加者が小学校低学年ということもあり、集中力が途切れやすかった。その為、化石に触れたり恐竜の学習については質問形式にして、目に見える形で表現するようにした。その結果、参加者は参加型の説明に飽きることなく学習出来た様子だった。

その他：参加者の増員、パズルのバリエーションを増やす等、今後に活かしていきたい。



レプリカでアクセサリーを作ろう！

開催日時：平成21年7月25日(土)10:30～11:35

開催場所：飛驒展示室、工作室

対象年齢：小学1年生～4年生

参加人数：16名

参加費：120円

目的：レプリカアクセサリー作りを通して、古生物に対する興味関心を促すと同時に、化石に触れ、郷土の自然を知る機会とする。

内容：カラフルなアンモナイトのレプリカを作成し、ネックストラップをつけてアクセサリーにする体験学習。

評価：恐竜に興味を持つ参加者が多く、こちらからの問い掛けに対して反応がよかった。又、完成したパズルには植物や肉食恐竜、太陽など恐竜が住んでいた環境を生き生きと描いていた。

課題：参加人数に対して、補助に入る保護者の人数が少ない場合、職員2名で対応するには再度工程を減らし簡略化するなど、内容を検討する必要がある。

状況：参加者からは、「アンモナイトの説明が面白かった」「またアンモナイトを作ってみよう」「またアンモナイトを作ってみよう」等、保護者からは「子供も大人も楽しめて良かった」「アンモナイトの説明を聞く事もできて面白かった」「また来てみたい」等の感想を頂いた。

所感：参加者の中に教え合う姿がみられ、また、保護者の方も大変協力的で自ら楽しんで手伝って下さっているように見受けられた。学校、学年を問わず交流する機会となる土曜教室の意義の一つを感じることが出来た。今後とも期待に恥じないものにしていきたい。

その他：実施して得た事を元に、今後の受入れ態勢を一層強化していきたい。



恐竜を掘ろう!! 化石クリーニング

開催日時：平成21年8月8日（土）10:30～12:00

開催場所：工作室

対象年齢：小学校4年生以上

参加人数：19名

参加費：150円

目的：飛騨地域から採取した中生代の岩石から、化石を探し出す体験を通し、身近な地域から貴重な化石が産出していることや、化石を取り出すことの大変さを学び、古生物に対する興味・関心を促す。

内容：飛騨地域から採取した本物の中生代の岩石から化石を探し出す体験学習。

評価：恐竜に興味を持つ参加者が多く、化石を発掘しようと真剣な様子だった。又、発掘した化石を持ち帰ることができ、参加者は喜んでいる様子だった。

状況：参加者からは「石を割って化石などが沢山出て面白かった。」「貝や葉を探したり、友達と分かり合えたのが面白かった。」等の感想を頂いた。保護者からは「真剣に取

り組んでいて、楽しそうで良かった。」等の感想を頂いた。

所感：化石クリーニングは、岩石を実際に割り、化石に触れたり顕微鏡で観察する事が出来た。又、恐竜の学習については質問形式にしたり、目に見える形で表現した事から、参加者は参加型の説明に楽しんで学習していた。

その他：大変人気があった為、今後も開催を予定したい。



レプリカでアクセサリーを作ろう!

開催日時：平成21年8月22日（土）10:30～11:35

開催場所：ガイダンスコーナー

対象年齢：小学1年生～3年生

参加人数：7名

参加費：120円

目的：レプリカアクセサリー作りを通して、古生物に対する興味関心を促すとともに、化石に触れ郷土の自然を知る機会とする。

内容：カラフルなアンモナイトのレプリカを作成し、ネックストラップをつけてアクセサリーにする体験学習。

評価：前回と同様に、参加者が出来る行程を増やした事により、一人一人が満足して楽しんでいたのが印象的だった。又、保護者の方にもお手伝い頂くことにより、和やかな雰囲気で開催することが出来たのでとても良かった。

課題：お手伝い頂いた保護者の方々に、紐の結び方等をお伝えするのに時間が掛かってしまった。今後は、誰にでも分かり易く説明出来る様に改善したい。

状況：保護者の方からは「ただのアクセサリー作りだけではなく化石の説明などもあり、とても親切で分かり易く楽しめました。」「次回も参加させたい。」との感想を頂

いた。又、参加者からは「紐を結ぶのが難しかった。」「型に入れるのが楽しかった。」等の感想を頂いた。

所感：参加者は、人に聞こうとしないで自分で作ろうとする意志が見受けられた。又、保護者も一緒に参加することにより普段には無い、親子のコミュニケーションが取れていた。

その他：より一層、参加者に楽しんで頂ける土曜教室にしていきたいと思っている。



□人類史部門

オープンで作る! まがたまストラップ

開催日時：平成20年4月19日（土）10:30～12:00

開催場所：「太古の飛騨」展示室・工作室

対象年齢：小学3年生以上

参加人数：27名

参加費：100円

目的：まがたまを作ることで、子供達を太古の歴史へ関心をもつ糸口とし、太古の飛騨展示室で地元の歴史について興味を持ってもらう。

内容：オープン粘土でまがたまを作り、焼成時間に「太古の飛騨」の展示解説を聞いて飛騨の歴史について学ぶ体験学習。

評価：子供向けに分かり易く、簡単な説明に心掛けた。又、フォローも素早く出来たので、時間に余裕を持てた。

課題：各部署への連絡が不十分だったので、スケジュールが決まった段階で、関係部署へ連絡していく事が、今後の課題となった。

状況：保護者からは「学校ではやらない様な体験が出来て、子供も楽しんでた。」「家に帰ってもう一度作れる様に、作り方が書かれている資料が欲しかった。」等の意見や

感想を頂いた。

所感：予想以上に参加者の申し込みがあった。自分だけのオリジナルストラップが出来上がり、参加者はとても喜んでる様子だった。



オープンで作る! まがたまストラップ

開催日時：平成21年7月11日（土）10:30～11:40

開催場所：人類史展示室前

対象年齢：小学3年生以上

参加人数：29名

参加費：100円

目的：まがたまを作ることで、子どもたちを太古の歴史へ関心をもつ糸口とする。

内容：オープン粘土でまがたまを作り、焼成時間を利用してシルクロード展を見学した。

評価：人類史展示室前でやったことによって、展示室のスタッフにもフォローしてもらえ、スムーズに進行出来た。

課題：人類史展示室前でやるには30名が限度。スペースの確保や人数を増やすことを考えるのであれば、場所とスタッフの確保の検討が必要。

状況：参加者から「色と色でまぜあわせる時、きれいな色になった所が面白かったです。」「ビーズを紐に通すのが難しかったです。」「保護者からは「丁寧に教えてもらいながら作ることができたようです。対応の親切なところが良いと思いました。」などの感想を頂いた。

所感：保護者から定員を増やしてほしいという要望があったので検討したい。

その他：反響があった為、今後も開催したい。



期間限定体験学習

□飛騨部門

アンモナイトのレプリカを作ろう！

開催日：平成20年4月～5月18日までの毎週土・日曜日

開催場所：飛騨展示室内

参加人数：延べ7名

内容：茹でると消しゴムになる粘土消しゴムを使い、アンモナイトのレプリカを作りながら、アンモナイトについて学ぶ体験学習。

状況：レプリカを初めて作る参加者が多く、一生懸命粘土をこねたり、アンモナイトの説明を聞いていた。又、参加者からは「レプリカの消しゴムはもったいなくて使えない。」「持って帰って宝物箱に入れたい。」という感想を頂いた。



七色に光るアンモナイトを作ろう！

開催日：平成20年9月～12月までの毎週土・日曜日

開催場所：飛騨展示室内

参加人数：延べ72名

内容：ホビーキャストでアンモナイトのレプリカを作り、七色に光るホイッスル型LEDにつける体験学習。

状況：参加者はとても楽しそうに、アンモナイトのレプリカを作っていた。又、保護者の方からは「こんな楽しい体験学習があってよかった。」という感想を頂いた。

□美術部門

手作り風鈴で夏を楽しもう

開催日時：平成20年7月19日（土）10:30～12:00

開催場所：工作室

対象年齢：小学3年生～中学生

参加人数：21名

参加費：100円

目的：季節を感じて夏を楽しむ。

内容：風鈴に季節を感じる絵を描く体験学習。

評価：参加者からは「とても面白かった。」等の感想を頂いた。

課題：メンバーの連携が不十分な点があった。今後はより綿密な打合せが出来る様、心掛けていきたい。

状況：参加者からは「楽しかった。また土曜教室に参加したい。」という感想を多く頂いた。又、保護者からは「細かく指導してくれた事が有難かった。」という感想を頂いた。

所感：季節を感じながら、個性豊かな風鈴が出来上がり、楽しんで頂けた。



キラキラ光るホタルを作ろう！

開催日：平成20年6月1日～7月19日、9月までの毎週土・日曜日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ244名

内容：ホビーキャストと点滅式LEDを使い、キラキラ光るホタルを作る体験学習。

状況：キラキラ光るホタルは、恐竜に次ぐ人気の体験学習で、男の子の参加者が多かった。又、完成までの行程で難しい所があり、上手に出来ない参加者がいたが、出来上がると嬉しそうにホタルを光らせていた。



この夏注目No.1 おしゃれな昆虫ボディアート

開催日：平成20年5月31日～9月15日までの毎日

開催場所：飛騨展示室内

参加人数：延べ634名

内容：腕に昆虫のデザインのボディアートをつける体験。

状況：ボディアートは、子供から大人まで幅広い年齢層の方に人気だった。色やデザインを選べるという点が好評だった為、参加者増加につながった。中には、次回来館した際に付ける、ボディアートの色や、デザインを決めている参加者もいた。



光記念館オリジナル！七色に光る昆虫を作ろう！

開催日：平成20年7月20日～8月31日までの毎週土・日曜日

開催場所：企画展示室前

参加人数：延べ642名

内容：ホビーキャストで昆虫のレプリカを作り、七色に光るホイッスル型LEDに付ける体験学習。

状況：年齢を問わず、多くの方が参加された。又、親子で七色に光る昆虫を光らせて楽しんでいった。

その他：参加人数がとても多かった。その為、昆虫の雌型の使用頻度が多く、予想以上に劣化が早かった。



アンモナイトのレプリカを作ろう！

開催日：平成21年2月28日～5月17日までの毎週土・日曜日、平成21年9月6日～12月13日までの毎週土・日曜日

開催場所：地下1階 飛騨展示室内

参加人数：延べ267名

内容：おゆまるを使ってアンモナイトのレプリカを作る体験学習。

状況：低学年の参加者が多くみられた。この体験学習は、様々な色のおゆまるから好きな色

を選んで、自分だけのレプリカを作ることができ、仕上がりが綺麗なので満足している様子だった。



夏季限定 ピカピカ光る恐竜の歯のレプリカを作ろう！

開催日：平成21年8月1日～8月31日までの毎週土・日曜日

開催場所：企画展示室前

参加人数：延べ147名

内容：ホビーキャストで昆虫のレプリカを作り、七色に光るホイッスル型LEDに付ける体験学習。

状況：初めての試みであるラメ入りのレプリカ作りは、男の子の参加者が多くみられた。恐竜の歯の型に調整した樹脂を入れる際に、液体が綺麗なのでゆっくり入れてしまい、途中で固まりやり直しが必要になった子供もいた。参加者の多くは、様々な色から選んだラメ入りの恐竜の歯を、自分で作ったことで嬉しそうにしている様子だった。



恐竜の歯のレプリカを作ろう！

開催日：平成21年5月30日～7月31日、9月1日～9月15日までの土・日曜日

開催場所：地下1階 飛騨展示室内

参加人数：延べ46名

内容：樹脂とラメの粉を使いアルパートサウルの恐竜の歯のレプリカを作る体験学習。

状況：恐竜の歯のレプリカ作りの体験学習は、参加者の多くが紙コップの中に調合した樹脂の温度が変わる所で初めに感動し、最後に型からレプリカを自分で取り出し、綺麗に出来上がっている状態が嬉しい様子だった。



□人類史部門

ビーズ付きまがたまストラップを作ろう！

開催日：平成20年4月～5月までの毎週土・日曜日
5月～12月までの毎週日曜・祝日

開催場所：人類史展示室前

参加人数：延べ871名

内容：オープン粘土で勾玉の形を作り、ビーズをトッピングしたストラップを作る体験学習。

状況：まがたまストラップ作りは、手軽に作れる事から、参加者の反応は好評だった。又、子供だけではなく保護者も一緒になって、ストラップ作りを楽しんでいた。



オリジナルビーズストラップ作り

開催日：平成20年5月31日～12月13日までの毎週土曜日

開催場所：人類史展示室前

参加人数：延べ132名

内容：プラバンにあらかじめ用意した古代の絵柄や、模様を写し色を塗り、ビーズを付けてオリジナルストラップを作る体験学習。

状況：ビーズストラップ作りは、年齢問わず多くが参加者があった。それぞれ好きな絵柄を選んだり、色を塗って楽しんでいる様子だった。参加者からは「いい記念になりました。」「また参加したい。」等の感想を頂いた。



ガラスの勾玉作り

開催日：平成20年5月4日（日）

開催場所：人類史展示室前

参加人数：7名

内容：耐熱石膏の勾玉の型に粉末状のガラスを入れ電子レンジ用の炉で焼く。除冷後仕上げにやすりをかけ、ビーズと一緒にストラップにつける体験学習。

状況：ガラスの勾玉作りは、幅広い年齢層に人気があり、参加者は楽しそうな様子だった。

又、参加者からは「1つ1つの行程が、とても面白かった。」等の感想を頂いた。



オリジナルビーズストラップ作り

開催日：平成21年2月26日～12月13日までの毎週土曜日

開催場所：人類史展示室前

参加人数：延べ225名

内容：プラバンにあらかじめ用意した古代の絵柄や模様を写し色を塗り、ビーズをつけてオリジナルストラップを作る体験学習。

状況：オリジナルビーズストラップ作りは、子供から大人まで幅広い年齢層に人気があり、色や絵柄を選べるという点が、好評だった。又、参加者からは「いい記念になりました。また参加したい。」という感想を頂いた。



ビーズ付きまがたまストラップを作ろう！

開催日：平成21年2月26日～12月13日までの毎週日曜日・祝日

開催場所：人類史展示室前

参加人数：延べ538名

内容：カラフル粘土で作ったまがたまに、ビーズをトッピングしたストラップをつくる体験学習。

状況：まがたまストラップ作りは、手軽にオリジ

ナルのストラップが作れることから参加者の反応は好評だった。参加者は親子ともに、まがたま作りを楽しんでいる様子だった。



その他

□人類史部門

縄文いきいきフェスティバル

主催：高山市久々野支所地域振興課

開催日時：平成21年8月23日(日)

開催場所：堂之上遺跡公園

参加人数：延べ100名

内容：オープン粘土で勾玉の形を作り、ビーズをトッピングしたストラップ作り

状況：午前10時から開催の予定だったが、予定時間より早く参加希望者が集まり始め、午後4時まで途切れることなく、準備していた100人分の材料がちょうどなくなる盛況ぶりだった。



□飛騨部門

簡単仕掛け!!オリジナル昆虫カード

開催日：平成20年6月5日、7月28日、8月5日、24日、9月5日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ38名

内容：色画用紙に型紙を当ててなぞり、ハサミで切り取り、のりで貼ってオリジナルのカードを作る体験学習。

状況：担当者同士の作成手順の打ち合わせが、不十分であった。

その他：参加者より、「型紙をなぞるのが難しかった。」「可愛く出来て良かった。」「友達にメッセージを書いてあげたい。」等の感想を頂いた。



集れ匠キッズ！粘土で昆虫を作ろう

開催日：平成20年6月13日、30日、7月24日、8月11日、9月9日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ46名

内容：紙粘土や石けん粘土を使いカブトムシやカミキリムシ、クワガタを作る体験学習。

状況：子供達と一緒に、御年配の方も参加していた。又、粘土を初めて触ったという参加者も、楽しそうに昆虫を作っていた。



とんぼの飛行機を作ろう

開催日：平成20年6月17日、8月12日、21日、9月4日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ44名

内容：画用紙のとんぼに色を塗り、ハサミで切り取って竹串を接着剤で止めて竹とんぼを作る体験学習。

状況：とんぼにつけた接着剤が乾くのを待ち遠しい様子で眺めている子供や、出来上がったとんぼを嬉しそうに何度も飛ばしている子供がいた。



オリジナル昆虫コースターを作ろう！

開催日：平成20年6月19日、8月9日、13日、17日、22日、30日、9月8日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ84名

内容：アイロンビーズを使い、オリジナルの昆虫コースターを作る体験学習。

状況：昆虫コースターを真剣に作る参加者が多く見うけられた。又、コースターが出来上がると、参加者はとても満足している様子だった。



あっと驚くストロー工作

開催日：平成20年7月12日、8月14日、23日、29日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ81名

内容：ハサミを使い、1本のストローからバツタを作る体験学習。

状況：ストロー工作は、大人でも苦戦する体験学習だったが、参加者は完成すると満足げな様子だった。又、多くの家族連れが参加された体験学習だった。



大人気!!森の木で作る昆虫アート

開催日：平成20年7月20日、8月7、25日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ62名

内容：ホットボンドを使い木の枝を組み合わせて昆虫を作る体験学習。

状況：木の枝でクワガタや、カブトムシを上手に作る子供や、保護者の姿が見うけられた。



最強の昆虫を作ろう！昆虫切り絵で紙ずもう！

開催日：平成20年7月21日、8月15、26、31日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ80名

内容：折り紙でカブトムシやクワガタの切り絵を作り、土俵上で紙ずもうをする体験学習。

状況：折り紙をカブトムシやクワガタの型に切り取り、出来上がった昆虫で紙ずもうを楽しむ家族連れの姿が見うけられた。又、小さい子供はハサミの使用が難しかった様で、保護者に手伝ってもらい一面も見うけられた。



昆虫に変身！おめんを作ろう

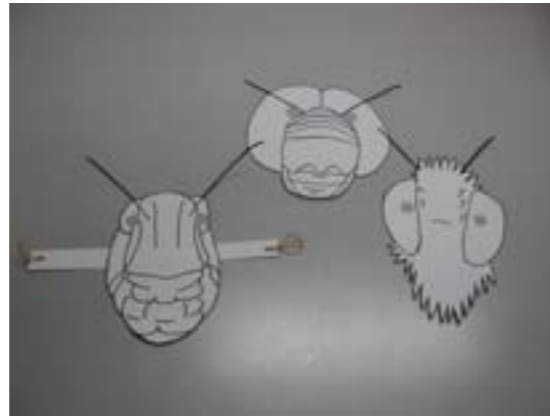
開催日：平成20年7月22日、8月1、16日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ32名

内容：画用紙に印刷された昆虫の顔に色を塗り、ハサミで切り取りおめんを作る体験学習。

状況：参加者は、それぞれ個性なおめんを作っていた。同じ昆虫でも、色の塗り方一つで全く違うおめんが出来上がった。又、参加者は出来上がったおめんを嬉しそうに付けていた。



ねじって曲げて昆虫アート

開催日：平成20年8月18、28日、9月11日

開催場所：企画展示室内

参加人数：延べ29名

内容：アルミ製のワイヤーを曲げてとんぼやチョウのプローチを作る体験学習。

状況：参加者のほとんどがワイヤーを使用するのが始めてだった。中には納得のいく仕上がりにならなかった参加者もいたが、とても楽しんでいる様子だった。



貸出資料

館外貸し出し履歴

作品貸出

平成20年

展覧会名	会場	作品名	作者名	備考
第14回 秘蔵の名品 アートコレクション	ホテルオークラ東京	立ち美人	宮川長春	チャリティーイベント
		日・龍・月	葛飾北斎	チャリティーイベント
		七世子川団十郎隅田川渡舟図	歌川国次	チャリティーイベント
上村松園・松篁・淳之展	豊橋市美術博物館	四季美人図	上村松園	開館30周年記念
	豊橋市美術博物館	三美人之図	上村松園	開館30周年記念

平成21年

展覧会名	会場	作品名	作者名	備考
加山又造展	国立新美術館	夜桜	加山又造	
		龍図	加山又造	
加山又造展	高松市美術館	龍図	加山又造	
		夜桜	加山又造	
上村松園・松篁・淳之 三大展	高島屋東京	わか葉の頃	上村松園	
	高島屋大阪	わか葉の頃	上村松園	
	高島屋京都	三美人之図	上村松園	
	高島屋名古屋	三美人之図	上村松園	
書×デザイン 挑戦の系譜	ロマン美術館	福寿文壺のれん	芹沢銈介	
		喜の字のれん	芹沢銈介	
		花鳥文のれん	芹沢銈介	
		飛びの字のれん	芹沢銈介	
日本画－描かれた日本の心	明石市立文化博物館	紅葉	鏑木清方	
		今様浅妻船	鏑木清方	
日本画－描かれた日本の心	駿府博物館	紅葉	鏑木清方	
		今様浅妻船	鏑木清方	
日本画－描かれた日本の心	高岡市美術館	紅葉	鏑木清方	
		今様浅妻船	鏑木清方	
和装美人から様相美人へ －大正・昭和の女性像－	堂本印象美術館	晴日	伊東深水	
清方ノスタルジア	サントリー美術館	二人美人図	鏑木清方	
	サントリー美術館	神田祭	鏑木清方	
	サントリー美術館	棗の葉かげ	鏑木清方	
	サントリー美術館	京鹿子娘道成寺	鏑木清方	14幅 1セット

ポジ貸出

平成20年

展覧会名	会場	作品名	作者名	備考
平成22年版 肉筆浮世絵名作品カレンダー	オフィス仁	雪中傘さし美人	二代鳥居清満	

平成21年

展覧会名	会場	作品名	作者名	備考
Addesso掲載	岡三証券発行雑誌掲載	夜桜	加山又造	
上村松園・松篁・淳之展	松柏美術館	四季美人図	上村松園	開館15周年特別展 の図録に掲載
平成23年版 肉筆浮世絵名作品カレンダー	オフィス仁	雪中傘さし美人	宮川正幸	

平成20・21年度 光記念館年報 第6号

平成22年4月1日発行

編集・発行 光記念館

〒506-0051 岐阜県高山市中山町175

TEL 0577-34-6511

FAX 0577-34-6065

<http://www.h-am.jp>